

令和5年度（2023年度）

一般選抜学生募集要項

【前期日程】

出願期間	令和5年(2023年)1月23日(月)～2月3日(金)
試験日	令和5年(2023年)2月25日(土)教育学部・経済学部・理工学部・ 福祉健康科学部
	令和5年(2023年)2月25日(土)・26日(日) 医学部
合格者発表	令和5年(2023年)3月8日(水)

【後期日程】

出願期間	令和5年(2023年)1月23日(月)～2月3日(金)
試験日	令和5年(2023年)3月12日(日)教育学部・経済学部・医学部・ 理工学部・福祉健康科学部
合格者発表	令和5年(2023年)3月21日(火)

※追試験については、xv～xviiページを参照してください。

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症への対応のため、やむを得ず、本募集要項記載の内容について、試験期日や選抜方法等を変更する緊急措置を実施する場合があります。その場合は、本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）等において周知します。

【インターネットを利用した出願です】

令和5年度（2023年度）入学者選抜における主な変更点

【教育学部】

- 初等中等教育コースにおける募集人員の変更（※特別支援教育コースは変更なし）

【変更前】

	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜
		前期日程	後期日程		
初等中等教育コース	125	65	20	30	10



【変更後】

	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜
		前期日程	後期日程		
初等中等教育コース	140	72	23	35	10

- 一般選抜における検査方法の変更

教育学部では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を適切に講じて入学者選抜を安全かつ確実に実施するために、一般選抜（前期日程、後期日程）におけるグループディスカッションを取り止めてペーパーインタビューを実施することとしました。

※ペーパーインタビューとは、グループディスカッション等の面接試験に代わる筆記試験で、表現力、主体性、意欲等の評価を紙上で行うものです。次ページの「ペーパーインタビュー問題例」を参考にしてください。

※教育学部のアドミッション・ポリシー（3～5ページ）で一般選抜の「グループディスカッション」に言及した箇所は、今年度については「ペーパーインタビュー」に読み替えます。

※ペーパーインタビューの配点や検査時間等については、35、36、46、47、59、60ページを参照してください。

ペーパーインタビュー問題例

問題例1 あなたは〇〇〇（教育に関わるテーマ）についてどのように考えますか。

解答欄例

問題例2 このテーマについてディスカッションをする場合、1で述べた意見に対しては、どのような質問が想定されますか。また、その質問に対してどのように答えますか。

解答欄例

※上記の問題例は、あくまでペーパーインタビューの趣旨についてご理解いただくために例示したものです。問題の出題形式や解答用紙の様式等は変更の可能性があります。

※解答は、面接試験における口頭での回答・発言と同等のものとなして評価します。

【経済学部】

●募集人員の変更

【変更前】

	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜
		前期日程	後期日程		
経済学科	290	120	80	普通推薦 45 商業推薦 20	英語資格 5 簿記資格 15 課題探究 5
経営システム学科					
地域システム学科					
社会イノベーション学科					



【変更後】

	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜
		前期日程	後期日程		
経済学科	270	120	65	普通推薦 45 商業推薦 10	英語資格 5 簿記資格 15 課題探究 10
経営システム学科					
地域システム学科					
社会イノベーション学科					

【医学部】

●先進医療科学科の新設

新たな学科として、先進医療科学科を設け、一般選抜前期日程及び後期日程による選抜を実施します（※詳細は39、40、49、50ページを参照してください）。

・令和5年度（設置）

先進医療科学科<35名>

	入学定員	一般選抜	
		前期日程	後期日程
生命健康科学コース	20	15	5
臨床医工学コース	15	11	4

「医学部先進医療科学科」の設置について

設置の主旨

高齢層の急増と若年層の減少により、医療・福祉系人材が不足する医療現場では、ゲノム・再生医療の生命科学分野、AI・ロボティクスやDXを活用した先進的な医療技術・医療機器の導入が進んでいます。近年の急速な医学・医療技術の進歩や内外の環境の激変に伴い、医学・医療の基盤*を研究し、新たな知見を創造する人材の不足がより深刻化しています。

それらを解決するため、医学と理工学、生命科学、医療マネジメントの領域を超えた幅広い知識や技術及び研究力を持つ融合人材の育成と進化した医工連携の構築を目標とし、医学・医療に精通した研究者や病院・医療産業界で活躍できる人材を育成するため、先進医療科学科を設置します。

※「医学・医療の基盤」とは、診断に必要な検査法や検査機器、治療に必要な手技や装置の知識や技術とその学問を意味します。

学科の概要

先進医療科学科では、先端医療技術を学び、医学・医療の基盤を支え次代のヘルスケアを担う医学・医療に精通した研究者や病院・医療産業界で活躍する人材を養成します。

本学科では、大学病院で多職種によるチーム医療や先端医療を学び、医学部での研究室配属や卒業研究により研究の手法や科学的思考、日進月歩する医療に対応し続けるリサーチマインドを涵養します。

コースの概要

本学科は、生命健康科学コース、臨床医工学コースの2コースで構成されます。

生命健康科学コースでは、人の生命現象、健康と疾病及び臨床検査に関する広範な知識と技能を身につけ、生命医学の発展及び健康寿命の延伸に活用できる人材を養成します。

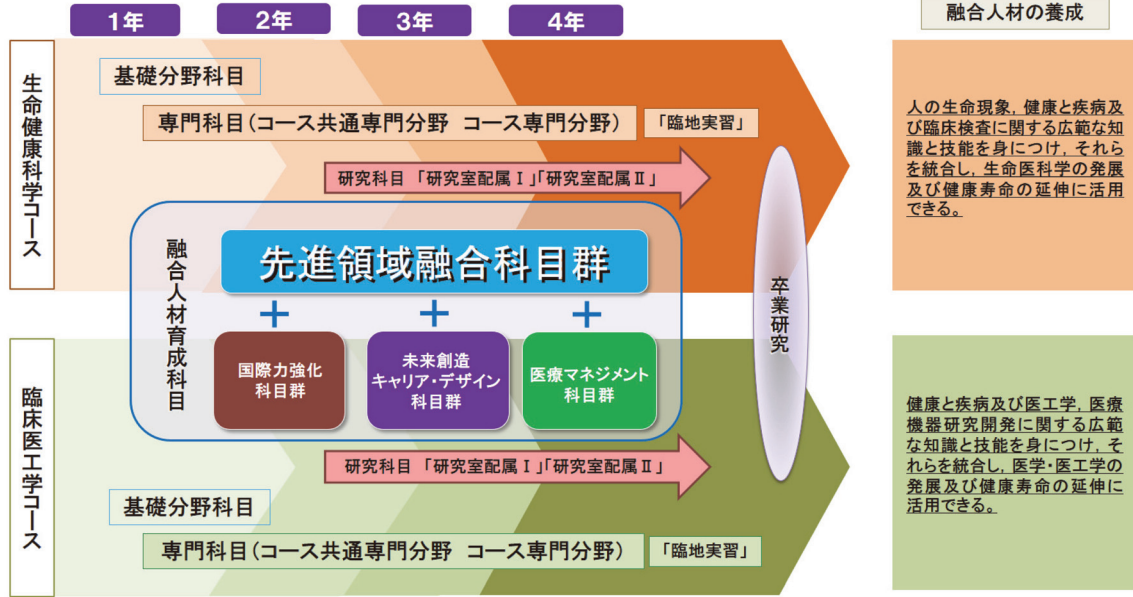
特定の授業科目の履修により、臨床検査技師の国家試験受験資格を得ることも可能です。

臨床医工学コースでは、健康と疾病及び医工学、医療機器研究開発に関する広範な知識と技能を身につけ、医学・医工学の発展及び健康寿命の延伸に活用できる人材を養成します。

特定の授業科目の履修により、臨床工学技士の国家試験受験資格を得ることも可能です。

教育課程の特色

本学科では、2コースそれぞれの領域の基本的な専門性を担保する教育課程をおきつつも、コースを横断した融合人材育成科目として「先進領域融合科目群」「国際力強化科目群」「未来創造キャリア・デザイン科目群」「医療マネジメント科目群」を配置し、融合人材能力、国際対応力、先進的な知識、医療マネジメントに関する知識・能力を修得することが可能なカリキュラムを編成しています。



【理工学部】

● 2 学科から 1 学科（理工学科）への再編

理工学部は、2 学科 8 コースから 1 学科 9 プログラムへ下記のように再編されます。それに伴い、学部入学定員は下記のとおり変更されます。また、各プログラムの募集の目安は次ページのようになります。

・令和 4 年度（募集停止）

理工学部 < 385 名 >

学科		コース	
名称	入学定員	名称	募集人員
創生工学科	235	機械コース	75
		電気電子コース	75
		福祉メカトロニクスコース	35
		建築学コース	50
共創理工学科	150	数理科学コース	15
		知能情報システムコース	65
		自然科学コース	15
		応用化学コース	55



・令和 5 年度（設置）

理工学部 < 355 名 >

学科	入学定員	プログラム
理工学科	355	数理科学プログラム
		知能情報システムプログラム
		物理学連携プログラム
		電気エネルギー・電子工学プログラム
		機械工学プログラム
		知能機械システムプログラム
		生命・物質化学プログラム
		地域環境科学プログラム
		建築学プログラム

※一般選抜の募集は学科一括で行います。各プログラムの募集の目安については次ページを参照してください。

※入学後のプログラム配属及び教育カリキュラムの概要については26ページを参照してください。

● 一般選抜前期日程及び後期日程における選抜方法・選抜体制の変更

学科再編、プログラム制への移行に伴い、一般選抜前期日程及び後期日程では、学科単位の一括募集となります。可否判定は、受験者を成績順に並べ、上位より志望プログラムに仮配属を行います。募集の目安は次ページのとおりです。なお、可否判定、プログラム仮配属及び入学後の教育方法についての詳細は26ページを参照してください。

プログラム	募集の目安	
	前期日程	後期日程
数理科学プログラム	13	
知能情報システムプログラム	39	9
物理学連携プログラム	10	
電気エネルギー・電子工学プログラム	46	9
機械工学プログラム	42	10
知能機械システムプログラム	16	6
生命・物質化学プログラム	37	7
地域環境科学プログラム	13	
建築学プログラム	28	8
合計	244	49

※数理科学プログラム、物理学連携プログラム及び地域環境科学プログラムでは後期日程受験者のプログラム仮配属はありません。

理工学部再編について

再編の理念：イノベティブな技術革新のために

技術革新を実現するためには、その課題もたらす「現象・状況を分析・解析」し、「根源的な要素やその原理・法則を確認・同定」した上で、「解決するための方策を、適用される局面を考えながら総合的・包括的に構築・実装」する過程が求められます。特に革新的な展開が求められる現代、そして、これからの科学技術開発では、この関係性がより一層密接に結びつくことが必要になります。理工学部は、2学科から1学科（理工学科）に再編され、「理学」と「工学」の両学問体系の強い連携・協働のもとに教育研究を推進します。

養成する人材像：スペシャリストとしての高い専門性と分野間連携能力

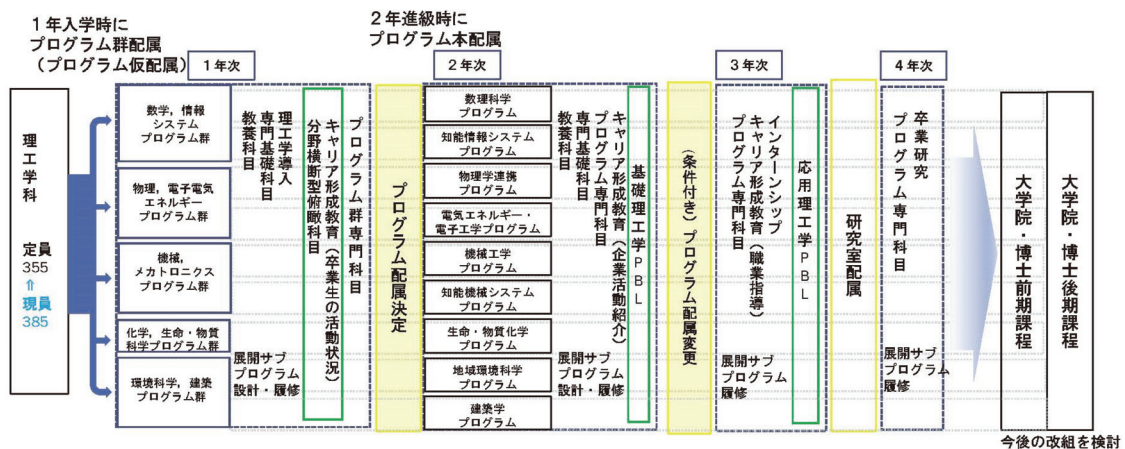
養成する人材像として、専門分野の専門性を糧に、思考力・判断力・俯瞰力・表現力を基盤に、幅広い教養と、公共性・倫理性を保持し、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力をもって社会を改善していく資質が不可欠であると考えています。そのために、次の2つの方針のもと、人材を養成します。

- ・理工学分野で活躍するに当たって、よって立つ基盤としての主分野での専門能力の着実な定着
- ・輻輳した現代の課題に、総合的な視点から分野を越えた連携による課題解決に貢献、主導できる能力の醸成

教育プログラムと教育課程

理工学分野での専門的人材養成のために、9つの教育プログラムにより、それぞれの基盤科学技術分野での専門人材育成のためのカリキュラムを構築します。1年次の基礎教育段階においては、関連性の深いプログラムによる群を構成し、群の共通基盤となる数学・物理・自然科学等にかかる理学的な基礎教育から始めます。その後の専門分野での教育においても科目共有等によりプログラム連携に基づく理工融合教育を実施します。

○理工学分野で活躍するに当たって、よって立つ基盤としての主分野での専門能力の着実な定着
○輻輳した現代の課題に、総合的な視点から分野を越えた連携による課題解決に貢献、主導できる能力の醸成



プログラム配属決定・変更
1年・2年修了時のプログラム配属変更については、学業成績をもとに、当該プログラムの募集の目安の10%程度を考える。2年修了時の配属変更については、加えて、当該プログラムの修了について展開サブプログラム履修等により4年で修了可能であることを原則とする。

9つの教育プログラム

数理科学プログラム

科学の基盤としての数理的知識・推論能力を身につけ、数学的方法の活用を通じて、理工学の諸分野と連携して、社会の諸課題の解決に寄与できる人材を養成します。

#数学 #応用数学 #データサイエンス

知能情報システムプログラム

情報科学を基礎とし、計算機科学を駆使して現代社会の情報化を推進し、IoTによるデジタル化やAI・データ科学の技術を活用して、新たな知的ITシステムのデザイン・構築に貢献できる人材を養成します。

#情報科学 #プログラミング #AI #IoT

物理学連携プログラム

力学、電磁気学などの基礎科目を通じて物理の原理・法則を学び、流体力学などの応用科目や卒業研究を通じて未知の課題に対する探求力を養い、物理学を基盤にして科学技術の進展に貢献する人材を養成します。

#理論物理 #実験物理 #シミュレーション物理

電気エネルギー・電子工学プログラム

数学・物理と電気電子工学を融合的に学び、電気エネルギーと電子情報工学の分野から持続可能な未来社会の構築に寄与できる、創造性と専門性を備えた人材を養成します。

#省エネ電気・電子機器 #省資源マテリアルプロセス #半導体・ナノテク #情報通信

機械工学プログラム

最先端の機械工学の知識を基礎に、脱炭素社会実現のためのエネルギー変換機器や、高効率で環境負荷の低い低炭素型機械の設計・開発ができる人材を養成します。

#ものづくり #ロボティクス #機械エンジニア #システム制御

知能機械システムプログラム

機械工学、電気工学、制御工学、情報工学などを広く学び、ロボティクス、サイバネティクスなどのメカトロニクス分野に関する知見を身につけ、Society5.0を迎える社会の実現を支える技術の開発に貢献できる人材を養成します。

#ロボット #メカトロニクス #福祉工学 #医工連携 #人間理解

生命・物質化学プログラム

基礎化学の知識と物質・材料科学及び生物化学の専門知識・技術を有し、それらを活用する能力をもち、地域・企業から地球環境に亘るさまざまな課題解決に生かし、脱炭素・持続可能な社会の構築に貢献できる人材を養成します。

#材料科学 #食品化学 #食品工学 #エネルギー #カーボンニュートラル

地域環境科学プログラム

地質・水環境・生態系を含む地域環境、地球規模での気象状況など、幅広い視点からの環境理解に基づき、防災・減災、都市・地域環境、土木の観点も思考し、持続可能な地域社会の発展に貢献

できる人材を養成します。

#環境保全 #気象・海洋 #都市・地域環境 #防災・減災

建築学プログラム

最先端の建築構造・材料施工・建築環境・設備と建築設計等を学び、安全・安心で環境と調和のとれた持続可能な建築とまちづくりに貢献できる人材を養成します。

#サステイナブル建築 #空間デザイン #耐震システム #環境シミュレーション

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性等）の評価について

本学における一般選抜では、学力の3要素（①知識・技能の確実な習得 ②（①を基にした）思考力、判断力、表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）のうち、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性等）を、下表の試験科目等により評価します。

学部名	前期日程	後期日程
教育学部	ペーパーインタビュー	ペーパーインタビュー
経済学部	特色加点	小論文
医学部	面接	面接
理工学部	特色加点	面接
福祉健康科学部	面接	面接

※「特色加点」は志願者の申請を原則とし、申請がなければ大学入学共通テスト、個別学力検査などの合計点のみで合否判定を行います。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験実施上の配慮、取組等について

1. 個別学力検査について

(追試験)

新型コロナウイルス感染症に罹患するなど、個別学力検査を受験できなかった者を対象に、追試験を実施します。申請方法等、追試験の詳細はxv～xviiページを参照してください。

2. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について

(試験前)

- ・新型コロナウイルス感染症に関する専用相談窓口を設けます。連絡先は次のとおりです。
【連絡先】 学生支援部入試課 電話：097-554-7471、E-mail:nyukikak@oita-u.ac.jp
- ・試験実施の前後に机、椅子の消毒を行います。

(試験当日)

- ・試験当日の朝、必ず受験者自身で検温を行ってください。発熱等を伴う受験者の取扱いについては、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための受験者への要請事項」を確認してください。
- ・送迎を除き、受験者及び本学教職員以外の大学構内への立ち入りを禁止します。また、付添者等が送迎のため入構する場合は、受験者の乗降後、速やかに退構していただき、大学構内での待機は禁止します。
- ・付添者等の控室は設置しません。
- ・試験室入口に手指消毒剤を設置します。
- ・試験開始までの間、試験室の換気を行います。
- ・試験科目終了ごとに、試験室の換気を行います。なお、試験時間中の換気は行いません。
- ・発熱・咳などの体調不良者のための別室を設けます。別室での受験者間の距離は2メートル以上を確保します。
- ・監督者等はマスクを着用します。
- ・面接待機中は、1時間に1度、面接待機室の換気を行います。
- ・個人面接、集団面接、グループディスカッションでは、受験者同士及び評価者との距離は2メートル以上を確保します。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための受験者への要請事項

試験場における感染拡大を防止し、受験者が安心して受験できる環境を確保するために、受験者は以下の事項に留意してください。なお、今後の感染状況によっては、以下の内容を変更する場合があります。

1. 試験当日までの過ごし方

①「新しい生活様式」等の実践

日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など体調管理に心がけてください。

②予防接種

新型コロナウイルス以外の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けることを検討してください。

③自主検温

試験日の1週間程度前から、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。

④医療機関での受診

試験日の1週間程度前から発熱（目安として37.5度以上。以下同じ）・咳などの症状がある場合は、あらかじめ医療機関での受診を行ってください。

2. 受験の取り止めについて

①受験できない者

以下の者は受験できません。

- ・新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- ・海外から日本に入国し、入国後の待機期間中である者
- ・試験当日、保健所等から濃厚接触者に該当するとされている者

※ただし、筆記試験、小論文、個別面接等、他の受験者と別室で受験することが可能な検査を実施する学部学科等については、無症状の濃厚接触者は、以下の条件を全て満たすことで受験を認めます。

- 1) 医療機関、自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査の結果、陰性であること ※検査結果が判明するまでは受験不可。
- 2) 受験当日も無症状であること
- 3) 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に到着すること
- 4) 終日、別室で受験すること

上記1)、3)、4)の条件に該当し、受験を希望する方は、前期日程は2月24日（金）10：00、後期日程は3月10日（金）10：00までに学生支援部入試課までご連絡ください。

【電話：097-554-7471】

なお、グループディスカッション、集団面接等、他の受験者と同室で受験することが必要な検査を実施する学部学科等については、無症状であっても濃厚接触者は受験できませんので、追試験の

申請を行ってください。

②受験の取り止めの検討について

次の場合は試験当日の対応等について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称がことなることがある）に相談するとともに、追試験の申請を検討してください。

- ・試験の前から継続して発熱・咳などの症状がある者
- ・試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがあ
る場合
- ・基礎疾患等により重症化しやすい受験者が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ・発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合

3. 試験当日における留意点

①検温について

試験当日の朝、必ず受験者自身で検温を行ってください。

②症状がある場合

発熱や咳などの症状のある受験者は、試験室への入室前にその旨を申し出てください。

<申出先>

【教育学部、経済学部、理工学部、福祉健康科学部の受験者】

試験実施本部（学生支援部入試課）

【医学部の受験者】

試験場本部（医学・病院事務部学務課）

③マスクの着用等について

症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では、試験監督者等の指示がある場合又は昼食時以外は常に着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話は極力控えてください。

なお、何らかの事情により、マスクを着用できない受験者は、試験日の3日前（前期日程：2月22日（水）、後期日程：3月9日（木））の12：00までに学生支援部入試課までご連絡ください。

【電話：097-554-7471】

④入退室時の手指等の消毒について

試験室入口に手指消毒液を設置していますので、入退室の際は必ず消毒をしてください。

⑤服装、昼食について

試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯がありますので、上着などを持参してください。また、試験場で食堂の営業等はいりませんので、昼食を持参し、指示された時間内に自席で黙食してください。

⑥大学構内への立ち入りについて

送迎を除き、受験者及び本学教職員以外の大学構内への立ち入りを禁止します。また、付添者等が送迎のために入構する場合は、受験者の乗降後、速やかに退構してください（大学構内での待機は禁止します）。

令和5年度（2023年度）大分大学一般選抜追試験について

1. 追試験申請の対象者

以下の者のうち、追試験申請受付期間内に「追試験申請書」及び「必要事項を受験者が自署した書面」を提出し、許可を受けた者。なお、個別学力検査の教科・科目等の試験を1検査項目でも受験した者については、すでに受験した個別学力検査の教科・科目等の試験結果は無効とし、追試験の申請を認めます。

- ・新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- ・海外から日本に入国し、入国後の待機期間中である者
- ・試験当日、保健所等から濃厚接触者に該当するとされている者
- ・試験の前から継続して発熱（目安として37.5度以上。以下同じ）・咳等の症状がある者
- ・試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある者
- ・基礎疾患等により重症化しやすい受験者が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある者
- ・発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く者

2. 追試験の申請方法・期間等

(1) 申請方法

本学ホームページに掲載した追試験申請書に必要事項を記入の上、「必要事項を受験者が自署した書面」とともに、代理人による持参又は郵送により学生支援部入試課まで提出してください。

提出に当たっては、事前に学生支援部入試課まで電話にてご連絡ください。

※電話連絡がない場合は、追試験の申請は受け付けられません。

【連絡先】学生支援部入試課 電話：097-554-7471

※本学の前期日程及び後期日程に出願し、いずれも追試験の対象となり受験が許可された場合でも、追試験は前期日程又は後期日程のいずれか一方を選択し受験していただきます。

(2) 申請受付期間

入試区分		追試験申請受付期間（※2月23日は除く）
一般選抜	前期日程	2月20日（月）～2月24日（金）8：30～17：00 2月25日（土）8：30～19：00 ※26日（日）も試験を実施する医学部の受験者は2月26日（日）19：00まで
	後期日程	3月6日（月）～3月10日（金）8：30～17：00 3月12日（日）8：30～19：00

(3) 提出書類

①追試験申請書

②以下の項目について受験者が自署した書面

- ・受験番号
- ・氏名及び緊急連絡先
- ・受診した医療機関の名称、又は濃厚接触者に該当すると判断した保健所等の名称

- ・医療機関を受診した日、陽性の判定を受けた日、又は保健所等から濃厚接触者に該当すると連絡があった日
 - ・健康観察期間として不要不急の外出を控えるよう指示されている期間
 - ・医療機関、自治体、又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査の結果
- ※提出された書類については、追試験受験の可否の検討以外の目的には使用しません。

③受験票のコピー

(4) 申請者への追試験受験許可の通知

申請者に対し、提出書類受理後、追試験受験の可否を速やかに決定し、郵送により文書で通知します。

3. 追試験の実施等

(1) 試験期日等（前期日程・後期日程ともに、同日に実施します）

試験期日：令和5年（2023年）3月22日（水）

※筆記試験及び面接の入室着席は検査開始時刻の30分前までに完了してください。

※遅刻による入室限度時刻は次のとおりです。

・筆記試験・・・検査開始後20分

・面接・・・検査開始時刻

検査場：旦野原キャンパス（教育学部、経済学部、理工学部、福祉健康科学部）

挾間キャンパス（医学部）

(2) 試験科目・検査時間・配点等

次ページの表のとおりです。

(3) 受験票

追試験の受験票は発行せず、本試験の受験票を使用します。また、大学入学共通テスト受験票も持参してください。

(4) 合格者発表

令和5年（2023年）3月26日（日）12：00

合格者は、上記の日時に大分大学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）に受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付します。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

(5) 入学手続

手続期間：令和5年（2023年）3月27日（月）～30日（木）17：00まで（必着）

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

なお、入学手続には大学入学共通テスト受験票が必要ですので、受験後も保管しておいてください。

3. 追試験の実施等 (2) 試験科目・検査時間・配点等

学部	課程・学科	コース等	学力検査等の区分	追試験		大学入学共通 テストの配点※1	配点合計
				科目	検査時間 配点		
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育コース	前期日程追試験	面接	【面接】10:00～	900	1200
		特別支援教育コース	後期日程追試験				
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科 社会イノベーション学科	※3	前期日程追試験	小論文	【小論文】10:00～11:40	800	1000
			後期日程追試験				
		後期日程追試験	小論文	【小論文】10:00～11:40	500	700	
			面接	【面接】9:00～	450	600	
医学部	看護学科 先進医療科学科	前期日程追試験	前期日程追試験	面接	【面接】9:00～	450	550
			後期日程追試験				
		後期日程追試験	面接	【面接】9:00～	150	1050	
			面接	【面接】9:00～	150	1050	
理工学部	理工学科	全プログラム	前期日程追試験	面接	【面接】10:00～	900 ※2	1100
			後期日程追試験				
		※3	前期日程追試験	小論文・面接	【小論文】10:00～11:15 【面接】12:00～	900	1300
			後期日程追試験				
福祉健康科学部	福祉健康科学科	理学療法コース	前期日程追試験	小論文・面接	【小論文】10:00～11:15 【面接】12:00～	900	1300
			後期日程追試験				
		社会福祉実践コース	前期日程追試験	小論文・面接	【小論文】10:00～11:00 【面接】12:00～	900	1300
			後期日程追試験				
心理学コース	前期日程追試験	小論文・面接	【小論文】100 【面接】300	900	1300		

※1 大学入学共通テストの配点の科目ごとの内訳は、理工学部以外の学部は、本試験と同一です。詳細は35～44ページを参照してください。
 ※2 理工学部前期日程追試験及び後期日程追試験における大学入学共通テストの配点の科目ごとの内訳は、理工学部後期日程本試験と同一です。詳細は41、42ページを参照してください。
 ※3 経済学部前期日程追試験及び理工学部前期日程追試験においては、本試験における特色加算点（配点：20点）による加算は行いません。

目 次

	ページ
大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）	2
1. 募集人員	25
2. 出願資格	27
3. 志願学部・学科等	27
4. 出願期間及び出願手続	29
5. 受験票（受験番号確定メールの送信・受験票の印刷）	32
6. 個人情報の取扱い	32
7. 入学資格審査	32
8. 障がいのある者等の事前相談	33
9. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮について	33
10. 令和5年度（2023年度）入学者選抜の実施教科・科目等及び配点	34
◎大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項	45
11. 個別学力検査の日程及び検査時間	59
12. 受験に際しての注意事項	61
13. 検査場	61
14. 不正行為の取扱い	64
15. 合格者発表	64
16. 入学手続	65
17. 追加合格	66
18. 欠員補充第2次募集	66
19. 情報提供	66
20. 入試過去問題の使用	67
21. その他	67
22. 受験の際の宿泊	67
23. 大分大学学生寮のご案内（予告）	68
24. 令和4年度（2022年度）入学者選抜試験実施状況	69
25. 令和4年度（2022年度）入学者出身高校所在地別状況	70
26. 令和4年度（2022年度）一般選抜合格者の成績	71

問合せ先

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 電話：0120-752-257 （出願登録期間の9：00～20：00）	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 電話：097-554-7471 （平日の9：00～17：00） E-mail:nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 ・「J-Bridge System」(JBS) の操作方法 等

大分大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 論理的に考え、文章や口頭で他者に伝えることができる人
3. 知識を組み合わせ活用したり、多面的な観点から物事を考えたりすることができる人
4. 思いやりの心をもち、他者と協力して行動することができる人
5. 地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲をもっている人
6. 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

大分大学教育学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行うことです。

教育の目標

各教科等の指導内容と指導方法についての確かな専門的知識の上に、新しい時代を担うための子どもたちの学ぶ力を育む実践的指導力を持ち、隣接する校種を見通しながら教育現場で生起する諸課題に適切に対応できる小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

求める学生像

1. 基礎学力を有し、小学校教員、特別支援学校教員、及び隣接校種である中学校教員、幼稚園教員として子どもたちの教育や支援に取り組む意欲と情熱がある人
2. 学校教育に深い関心があり、大分県を中心とした地域社会への貢献ができる人
3. 物事を多面的に分析し、自ら課題を見つけ、他者と協働して課題解決ができる人
4. 子どもや他者とのコミュニケーションが積極的にでき、相互理解を深めようとする人

入学者選抜の基本方針

教育学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般選抜(前期日程・後期日程)、学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施し、「求める学生像」にそって学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別学力検査を課しています。大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では教科の試験とグループディスカッションを課しています。

・一般選抜（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別学力検査を課しています。大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では小論文とグループディスカッションを課しています。

・学校推薦型選抜

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及びグループディスカッションを課しています。大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個人面接及びグループディスカッションでは提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

・総合型選抜

総合的な学力及び教科の能力をみるため、大学入学共通テストと個人面接及び教科〈音楽、美術、保健体育、技術、家庭〉の試験を課しています。大学入学共通テストは3～4教科4～5科目とし、個人面接及び教科の試験では提出書類と合わせて総合的に判断して選考します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	教育や支援に取り組み意欲と情熱	学校教育への深い関心	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		教科の試験	○	○			
		グループディスカッション (調査書)		○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○			
		小論文		○			○
		グループディスカッション (調査書)		○	○	○	○
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○				
	個人面接 グループディスカッション (調査書) (志望理由書) (推薦書)		○	○	○	○	
総合型選抜	大学入学共通テスト	○	○				
	教科の試験	○	○		○		
	個人面接 (調査書) (自己推薦書) (活動報告書)		○	○	○	○	

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。このような点から、一般選抜及び学校推薦型選抜において課している大学入学共通テストの教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、修得するとともに、応用的な力を養っておくことが必要です。総合型選抜においては、これらの教科・科目の試験すべてを課しているわけではありませんが、そこで受験しなかった教科・科目も大学入学までに十分に理解し、修得していることが望まれます。

また、教科・科目の知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力等の学力や、「求める学生像」に示した資質を高めておくことが望まれます。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。

なお、修得しておくべき科目は国語総合の他、国語表現、現代文、古典に関する科目です。

地理歴史、公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

- 数** **学**：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。
- 理** **科**：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。
- 外国語（英語）**：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。なお、修得しておくべき科目はコミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。

大分大学経済学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を發揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を發揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を有する人材を養成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学する人は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。特に、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分をもち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員、事業コンサルタントやシンクタンク研究員、また大学院進学をめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設、NPO・NGO、ボランティア組織、地場産品を扱う6次産業などで働くことをめざす人）

《各学科の特色》

本学部は、次の4つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。

とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したものです。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動が生み出す経済社会の諸現象を分析できる経済学的な考え方を学びます。これにより、グローバル化された経済社会で活躍できる人材を育成します。

〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる経営上の問題に対しての経営学・商学・会計学の諸理論を基礎・中級・応用と段階的に幅広く学び、かつ分析・解明する方法や技術を会得したうえで、それらを実社会で有効に活用し効果的な解決策を提案できる実践力を養います。

〈地域システム学科〉

地域システム学科では、地域経済、法律、行政、福祉など、住民の生活領域を学際的・総合的に学ぶとともに、異文化間コミュニケーションと国際相互理解を深める実践的な学習を行います。これにより、地域の経済社会や行政・法制度に関わる知識を十分に備え、グローバルな諸問題を総合的に理解し、それらを活用して、地域社会の再生・活性化のために、ローカルな実践ができる人材を養成します。

〈社会イノベーション学科〉

社会イノベーション学科では、商品・サービスの創造による企業経営上の革新や、行政やNPO等による社会事業創造に基づき、地域社会の課題を解決することを学びます。特に、イノベーション（新たな価値創造）が求められる社会経済状況を理解して、地域における現場体験を組み込んだ実践的な教育を通じ、課題探究能力およびチームワークを構築・維持できるようなコミュニケーション力を備えた人材や組織の中でイノベーション強化に携わる人材を養成します。

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）、総合型選抜、社会人選抜などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れます。

・一般選抜（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を課します。特色加点では、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・一般選抜（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入学共通テストは4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課しています。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

・学校推薦型選抜（普通推薦、商業推薦）

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、

表現力を評価します。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力を評価します。

- 総合型選抜

[英語資格・簿記資格に基づく選抜制度]

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。英語資格の個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力を評価します。簿記資格の個人面接では、提出書類も参考にして、資格取得を通して身につけた能力を大学の学びにどのように結びつけたいかなどの積極性・学習意欲・自己表現能力を評価します。

[課題探究型学習に基づく選抜制度]

高等学校等での学習課程の中で課題探究に取り組みながらその成果を残し、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲をもつ学生を選抜するため、大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書、調査書及び出願資格に関わる提出物による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。個人面接では、提出書類も参考にして、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力および主体的に学習に取り組む態度を評価します。

- 帰国生徒選抜

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

- 社会人選抜

大学入学共通テストと個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

- 私費外国人留学生選抜

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）を評価します。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力を評価します。

- 第3年次編入学試験

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価します。

各選抜試験で重視する力や観点

入試区分	入試科目	学力の3要素（確かな学力）			求める学生像		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	経済社会への関心や基礎学力を有する	自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		教科の試験	○	○		○	
		特色加点			☆		☆
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○	
		小論文	○	○	○	○	○
学校推薦型選抜	小論文	○	○		○		
	面接（グループ・ディスカッション）	○	○	◎	○	○	
	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○	○	○	○	
	推薦書	○		○	○	○	
総合型選抜	小論文	○	○		○		
	面接	◎	○	◎	○	◎	
	調査書	○		○	○		
	志望理由書		○	○	○	○	
その他	帰国生徒選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	社会人選抜	小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	○
		調査書	○		○	○	
	私費外国人留学生選抜	教科の試験	◎			○	
		小論文	○	○		○	
		面接			◎	○	◎
		調査書	○		○	○	
	第3年次編入学試験	教科の試験	◎				
		小論文	○	○		○	
		調査書	○		○	○	

◎は、特に重視する

☆は、加点点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

経済学部の教育は、高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

数学：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

理科：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

大分大学医学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー：AP)

基本理念

医、看護及び先進的医療に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学、看護学及び医療科学の知識並びに技術と技能、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、医療従事者等、更には医学、看護学研究者、大学・企業研究者等を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

<医学科>

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

<看護学科>

人々が心身共に健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の修得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができる、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

<先進医療科学科>

領域・業種の垣根を超えた情報交換と交流の橋渡しができる能力を有し、大学・企業研究者、医療従事者、起業家、医療事業経営マネジメントを行える人材となり、進化した医工連携、深化した医学生命科学連携の将来の担い手として活躍できる人材を養成します。

求める学生像

<医学科>

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた温かい心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を修得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人
(一般選抜地元出身者枠、総合型選抜地域枠)
- 5 大分県の地域医療に貢献したいという強い意志と、地域医療に対する適応力を持っている人

<看護学科>

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の修得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽(生涯学習)を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

<先進医療科学科>

- 1 医療に携わる様々な領域で研究者、科学者、起業家などとして地域社会の発展と人類の健康・福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人

- 2 好奇心旺盛で、様々な分野に興味があり、多様性のある活動ができる人
- 3 他者に対する思いやりに満ちた温かい心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 4 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を修得するため、自らたゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる自主性、持続力と忍耐力を持っている人
- 5 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を持っている人

入学者選抜の基本方針

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では一般選抜と総合型選抜を、看護学科では一般選抜と学校推薦型選抜を、先進医療科学科では一般選抜を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、医学科では医学以外の大学在学者・卒業者を対象に第2年次編入学試験を、看護学科では社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象とした第3年次編入学試験を実施しています。

各選抜試験で重視する観点<医学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像				
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	医師になる確固たる決意を有する	思いやりに満ちた温かい心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する	協調性・社会性を有する	大分県の地域医療に貢献する強い意志と地域医療への適応力を有する
一般選抜	前期日程								
	大学入学共通テスト	○	○						
	個別学力検査(筆記)	○	○						
総合型選抜	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○		○ (地元出身者枠)
	大学入学共通テスト	○	○						
	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○		○ (地域枠)
	個別学力検査(グループディスカッション)		○	○				○	○ (地域枠)

各選抜試験で重視する観点<看護学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	強い意志と温かい心を有する	努力と自己研鑽を重ねる	問題意識を持ち教養を備えている	社会性を有する
一般選抜	前期日程							
	大学入学共通テスト	○	○					
	個別学力検査(小論文)	○	○					
	個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○	○

	後期日程	大学入学共通テスト	○	○					
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○	○
学校推薦型選抜		個別学力検査(小論文)	○	○					
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○	○
		個別学力検査(グループディスカッション)		○	○			○	○

各選抜試験で重視する観点<先進医療科学科>

入試区分	検査項目	学力の3要素			求める学生像			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性・コミュニケーション力	地域発展・人類福祉への貢献の意思を有する	思いやりに満ちた温かい心を有する	努力する持続力と忍耐力を有する	協調性・社会性を有する
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		個別学力検査(筆記)	○	○				
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○
	後期日程	大学入学共通テスト	○	○				
		個別学力検査(小論文)	○	○				
		個別学力検査(個人面接)		○	○	○	○	○

・一般選抜

≪医学科前期日程≫

一般選抜では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テストは5教科7科目を課しています。個別学力検査では、前期日程において、理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2科目選択）、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等、受験者の素養を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

≪看護学科前期日程・後期日程≫

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度を評価するため、大学入学共通テストについては5教科6科目を課します。また、個別学力検査については、前期日程では、小論文と面接を、後期日程では面接を課します。小論文では、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。その際、高等学校等の調査書及び志願調書を参考資料とします。

≪先進医療科学科前期日程・後期日程≫

一般選抜では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入学共通テストについては5教科7科目を課します。また、個別学力検査については、前期日程では、「数学」、「理科」（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目選択）、「英語」により、医学・医療を学ぶための基礎学力に加え、自然科学や多様な情報に対する深い思考力、判断力、表現

力を評価するとともに、「面接」により課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。後期日程では、「小論文」により、医学・医療に関する深い思考力、判断力、表現力を評価するとともに、「面接」により課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。その際、高等学校等の調査書を参考資料とします。

- ・総合型選抜

- ◀医学科▶

- 総合型選抜は、自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜します。一般選抜と同じく大学入学共通テストは、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、5教科7科目を課しています。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価します。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価します。

- ・学校推薦型選抜

- ◀看護学科▶

- 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストを免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。その際、調査書、推薦書及び自己推薦書を参考資料とします。

- ・社会人選抜

- ◀看護学科▶

- 社会人選抜では、社会人としての経験を看護の分野に生かしてゆくことのできる有能な人材を受け入れるため、大学入学共通テストを免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接とグループディスカッションを行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。

- ・第2年次編入学試験

- ◀医学科▶

- 第2年次編入学試験では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れたグループディスカッションを行います。

- ・第3年次編入学試験

- ◀看護学科▶

- 短期大学の看護系学科及び看護系専修学校の卒業者等に、看護に対する専門能力及び指導能力をより高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施し、英語と総合問題と面接を課しています。総合問題では、専門基礎科目並びに専門科目に関する基礎知識・問題解決能力・

統合能力を測り、面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に修得することが必要です。

・一般選抜、学校推薦型選抜

<医学科前期日程>

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

数学：理系数学（数学Ⅲ・数学Bの範囲まで）の知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要で

<看護学科前期日程・後期日程・学校推薦型選抜>

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：社会科学的な基礎知識と思考力を身につけていることが必要です。

数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの基礎的知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、会話力を身につけていることが必要です。

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要で

<先進医療科学科前期日程・後期日程>

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

数学：理系数学（数学Ⅲ・数学Bの範囲まで）の知識、応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

理科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要で

・総合型選抜

<医学科>

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力、論理的思考力、コミュニケーション能力を磨く必要があります。

地理歴史、公民：各科目の基礎的知識、社会的常識と思考力を身につけている必要があります。

数学：理系数学（数学Ⅲ・数学Bの範囲まで）の知識、応用力と数理的思考力を身につけている必要があります。

理科：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物の知識と理学的思考力を身につけている必要があります。

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力、外国語文献を読解し、外国語で発表する基礎的語学力を身につけている必要があります。

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

大分大学理工学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

基本理念

質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成することです。

教育の目標

自ら課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力、国際基準を満たす専門知識を備え、総合的な視点から分野を超えて連携できる、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成します。

求める学生像

- ・理学及び工学分野の基礎をなす数学や理科等の基礎学力を備え、理学及び工学分野に加えより広範囲な事象に対して知的好奇心をもっている人
- ・基礎的な表現力・コミュニケーション力を備え、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく意志と姿勢をもっている人
- ・社会における責任感と倫理観を備え、人類の福祉や地域社会のために理学・工学の視点から課題解決に貢献したいという意志をもっている人
- ・自らの考えで行動する主体性を備え、社会の変化に対応する柔軟性に資する知識・技能を学修する意志をもっている人

加えて、主に基礎学力を重視する一般選抜では、各プログラムカリキュラムを修得するのに必要となる高校段階の理科分野のうち、プログラムの指定する科目について十分に習熟している人を求めています。

また、志願分野への志望や興味を重視する総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）では、プログラムごとに次のような人を求めています。

<数理科学プログラム>

- ・数学に興味があり、科学技術を発展させるための様々な課題に対して、数学の立場からその解決方法を見出し、それに取り組む過程に魅力を感じる人

<知能情報システムプログラム>

- ・情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

<物理学連携プログラム>

- ・物理学に関連する分野で地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<電気エネルギー・電子工学プログラム>

- ・現代社会を支える電気電子工学分野に関心があり、この分野を主体的に学んで社会で活躍したいという意欲のある人

<機械工学プログラム>

- ・ものづくりに興味があり、そのために必要な機械工学に関する専門知識を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<知能機械システムプログラム>

- ・メカトロニクスシステム（機械／電気系）と生体系、及びそれらの複合系に関する専門知識を身につけ多様化する社会の発展に貢献したいという意志をもっている人

<生命・物質化学プログラム>

- ・科学、工学の分野に関心があり、特に化学に関する幅広い専門知識・技術を身につけ社会に貢献し

たいという意志をもっている人

<地域環境科学プログラム>

・環境・自然科学・土木に関連する分野で、時々刻々と変化する地域的・社会的課題を的確にとらえ、安全・安心で持続可能な地域環境を実現するための取り組みを通じ、地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<建築学プログラム>

・自然科学や工学のみならず社会科学、環境科学並びに芸術の分野に関心があり、高度化・多様化・国際化している建築の知識や技術の修得をもって、安全・安心かつ持続可能な社会実現や魅力ある環境・空間の創生に貢献したいという意志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）のほか、学校推薦型選抜（一般推薦、サイエンス推薦）、総合型選抜、特別選抜（帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜）などを実施し、アドミッション・ポリシーにそってより多くの観点から受験者の学力や資質を評価し、学生を選考します。

・一般選抜（前期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（5教科7科目）、個別学力検査（数学・理科）及び特色加点により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。個別学力検査では、問題を解決するために適切な知識や技能を選択し、活用する能力、自らの考えを適切に表現する能力を評価します。特色加点では、理学及び工学に関する関心・意欲、協調性・積極性・主体性などを評価します。

・一般選抜（後期日程）

基礎学力に加えて知的好奇心や資質を評価するため、大学入学共通テスト（5教科7科目）及び個別学力検査（面接）により選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を評価します。個別学力検査は、集団面接又は個人面接で行い、理工学分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価します。また、数学と理科に関する学力及び科学的思考能力を評価する試問を含むことがあります。なお、後期日程では数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムへの仮配属はありません。

・学校推薦型選抜Ⅰ（一般推薦）

知能情報システムプログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験及び面接により総合的に評価し、選抜します。志望理由書は参考資料として用います。基礎能力試験では、基礎学力を含む科学的思考力、論理的思考力及び課題解決能力を評価します。面接は集団面接で行い、基礎学力に関する試問も含み、志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ（サイエンス推薦）

知能情報システムプログラム、知能機械システムプログラム及び生命・物質化学プログラムにおいて、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び実績を評価するため、高等学校等において、科学に関する特別活動（例：SSHプログラム、科学クラブ等）に取り組んだ経験のある者を対象として、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、プレゼンテーション及び面接により総合的に評価し、選抜します。また、科学に関する特別活動の実績を示す資料も提出してもらい、志望理由書とともに参考資料として用います。プレゼンテーションでは、科学に関する特別活動の内容に関する発表と質疑応答を行います。面接は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学に関する特別活動の実績を示す資料及び志望理由書も参考にして科学的思考力、専門分野への関心・

意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ

建築学プログラムにおいて、幅広い分野への興味と社会への貢献の意志を評価するため、大学入学共通テスト（5教科7科目）、調査書、小論文及び面接により総合的に評価し、選抜します。大学入学共通テストでは、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の活用力を評価します。小論文では課題について意見を問い、論理的思考力、判断力、表現力などを評価します。面接は個人面接で行い、志望理由書等も参考にして科学的思考力、建築への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。

・総合型選抜

知能情報システムプログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、志望分野への興味と社会への貢献の意志及び工業分野の学びの実績を評価するため、高等学校等の機械、電気、電子、情報、計算機、建築、土木、環境に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者を対象として、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、調査書、自己推薦書、活動報告書及び面接により総合的に評価し、選抜します。面接は集団面接又は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを評価します。なお、知能情報システムプログラム、地域環境科学プログラム及び建築学プログラムでは、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を課します。

・帰国生徒選抜

日本国籍又は日本の永住許可を有する者を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない者を対象に、海外での学びと多様な経験や実績を評価するため、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学、理科）、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、日本語能力、専門分野への関心・意欲・理解を評価するとともに、積極性、自己表現力を評価します。また、理解力・論理的思考力・表現力を評価するために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・第3年次編入学

理工学に関連する高等教育機関での多様な学修実績を活かし本学部でさらなる学修を志望する者を対象に、面接、提出書類により総合的に評価し、選抜します。面接では、簡単な筆記試験及び口頭試問により、基礎学力や専門分野の学力を評価するとともに、専門分野への意欲、積極性、論理的思考力、自己表現力についても評価します。

各選抜試験で重視する観点

		入試区分	学力の3要素			求める資質・能力			
			知識・技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性・ 協働性	数学・理科 の基礎学力	知的・好奇 心・志望分 野の課題へ の興味・意 欲・関心・ ねばり強さ	自立的に考 え、かつ他 者と協同し て取り組む 姿勢	リーダー シップと行 動力を発揮 する意志
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		個別学力検査（数・理）	○	◎		◎			
		特色加点			☆		☆	☆	☆
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		○			
		個別学力検査（面接（口頭 試問を含む））	○	◎	○	○	◎	○	○
学校推薦型選抜Ⅰ	一般推薦	基礎能力試験	◎	○		○			
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○
		調査書・推薦書	○				○	○	○
	サイエンス推薦	プレゼンテーション		◎		○		◎	
		面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○
		調査書・推薦書	○				○	○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	◎	○		○				
	小論文	○	◎			○			
	面接	○	◎	○		◎	○	○	
	調査書	○				○	○	○	
総合型選抜	面接（筆記試験・小論文・ 口頭試問を含む）	○	○	○	○	◎	○	○	
	自己推薦書		○			○			
	活動報告書		○	○	○	○	◎	○	
	調査書	○				○	○	○	
その他	帰国生徒選抜	学力検査	◎	○		◎			
		面接	○	◎	○	○	○	○	○
		提出書類	○	○		○	○	○	○
	私費外国人留学生選抜	学力検査	◎	○		◎			
		面接	○	◎	○	○	○	○	○
		提出書類	○	○		○	○	○	○
	第3年次編入学試験	面接（筆記試験・口頭試問 を含む）	○	○	○	○	◎	○	○
		提出書類	○	○	○	○	○	○	○

◎は、特に重視する

☆は、加点評価

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

理工学部教育においては、高等学校において学習する以下の教科・科目の内容を理解することが望まれます。高等学校の教育課程や選抜区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によってそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。修得しておくべき科目は、国語総合、国語表現、現代文、古典です。

地理歴史、公民：地理歴史、公民の各科目の学習を通じて、基礎的な知識を修得するとともに、地理・歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけるとともに、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心をもつことが必要です。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについて、基礎的な計算技能を修得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

理科：物理、化学、生物に関する基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。電気エネルギー・電子工学プログラム、物理学連携プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラム志望者は、物理基礎及び物理の修得に加え、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から1科目の修得が望まれます。数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム志望者は物理基礎及び物理、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から2科目以上の修得が望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力をもつことが必要です。修得しておくべき科目は、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。

大分大学福祉健康科学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー：AP)

基本理念

福祉と医療、心理を融合した新しい教育研究を通じ、リハビリテーション学、社会福祉学、心理学の学問領域に立ち、それぞれの学問領域における高度な専門的知識と技能のみならず他領域における知識等を体系的に修得することを通じて、「地域包括ケア」のリーダーとして活躍できる人材養成を行うことによって、より成熟した福祉社会の実現に寄与することです。

教育の目標

資格取得をめざすのみではなく、「高度な専門性」と「社会人としての教養と態度」を備えた医療・福祉・心理の各分野における「実践専門職」として社会に貢献するとともに、包括的な支援を高度にマネジメントできるリーダーとして「地域包括ケア」の実現に寄与する人材を養成します。

求める学生像

本学部において、以下の人材を求めます。

- ・大学において、教養と専門的知識を修得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人
- ・福祉社会の実現に関心を持ち、自ら考え、実践・努力する人
- ・様々な活動に主体的に取り組めるとともに、思いやりの心を持って行動できる人
- ・地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持つ人
- ・知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人
〈理学療法コース〉
- ・リハビリテーションの専門知識や技能を生かして社会に貢献したいという意思を持つ人
〈社会福祉実践コース〉
- ・福祉の専門職として、地域に貢献し、社会に役立ちたいという意思を持つ人
〈心理学コース〉
- ・心理学の専門知識や技能を生かして社会で活躍し、貢献したいという意思を持つ人

入学者選抜の基本方針

本学部では、求める学生像のみならず、高等学校及び大学において育成すべき「生きる力」「確かな学力」の本質を踏まえつつ、アドミッション・ポリシーに基づき、受験者の多様な能力を多元的に評価する個別選抜を確立するために、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜（社会福祉実践コース）、総合型選抜（理学療法コース・心理学コース）を実施し、高等学校等で培われた学びの意欲や活動を多面的・総合的に評価し、選考します。

- ・一般選抜（前期日程、後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入学共通テストと個別学力検査を課します。大学入学共通テストは5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では、各コースの専門に応じたテーマを設定した小論文及び面接を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などを評価します。

- ・学校推薦型選抜

「社会福祉実践コース」のみ学校推薦型選抜を行います。特に、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜においては、アドミッション・ポリシーに基づき多様な能力を多元的に評価する選抜として、小論文では総合問題等を導入し、論理的思考力、表現力を測り、面接ではコミュニケー

ション力やリーダーシップを測ることにより丁寧な選抜を行います。

・総合型選抜

「理学療法コース」及び「心理学コース」において総合型選抜を行います。総合型選抜では、大学入学共通テストによってコースの学修に必要な知識・技能を評価するとともに、小論文では論理的思考力、表現力を評価し、個別面接（理学療法コース及び心理学コース）やグループディスカッション（心理学コース）では主体性、協働力、意欲、積極性、コミュニケーション力やリーダーシップを評価します。

各選抜方法で重視する観点

入試区分及び入試科目			学力の3要素			本学部が求める力		
			知識技能	思考力判断力表現力	主体性協働力	地域や現代社会への関心	意欲積極性	コミュニケーション力・リーダーシップ
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		小論文	○	◎	○	◎	○	
		面接		○	◎	○	◎	◎
学校推薦型選抜	小論文	○	◎	○	◎	○		
	面接		○	◎	○	◎	◎	
総合型選抜	大学入学共通テスト	◎	○					
	小論文	○	◎	○	◎	○		
	個別面接		○	◎	○	◎	◎	
	グループディスカッション		○	◎	○	◎	◎	

◎は、特に重視する

高等学校等の段階で修得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、修得していることを前提として行われます。個別学力検査及び学校推薦型選抜においては、これら教科・科目の試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、修得していることが望まれます。

国語：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。
 なお、修得しておくべき科目は国語総合、国語表現、現代文、古典です。

地理歴史・公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を修得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を修得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。

なお、修得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

理 科：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも必要です。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。

なお、修得しておくべき科目はコミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。

1. 募集人員

学部	課程・学科・コース等		入学定員	募集人員						
				一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜		
				前期日程	後期日程	学校推薦型選抜 I	学校推薦型選抜 II	総合型選抜 I	総合型選抜 II	
教育学部	学校教育 教員養成 課程	初等中等 教育コース	140	72	23	—	35	—	10	
		特別支援 教育コース	10	3	2	—	5	—	—	
	計		150	75	25	0	40	0	10	
経済学部	経済学科		80	120	65	普通推薦 45 商業推薦 10	—	英語資格 5 簿記資格 15 課題探究 10	—	
	経営システム学科		75							
	地域システム学科		75							
	社会イノベーション学科		40							
	計【注2】		270	120	65	55	0	30	0	
医学部	医学科		100	一般枠 55 地元出身者枠 10	—	—	—	—	一般枠 22 地域枠 13	
	看護学科		60	35	10	15	—	—	—	
	先進医療 科学科	生命健康 科学コース	20	15	5	—	—	—	—	
		臨床医工学 コース	15	11	4	—	—	—	—	
	計		195	126	19	15	0	0	35	
理工学部	理工学科	数理科学プログラム	355	244	49 【注6】	—		—	—	—
		知能情報システム プログラム				一般推薦 5 サイエンス推薦 2	7	—	5	—
		物理学連携プログラ ム				—		—	—	—
		電気エネルギー・ 電子工学プログラム				一般推薦 8	8	—	2	—
		機械工学プログラム				一般推薦 10	10	—	5	—
		知能機械システム プログラム				一般推薦 4 サイエンス推薦 1	5	—	1	—
		生命・物質化学プロ グラム				一般推薦 6 サイエンス推薦 2	8	—	—	—
		地域環境科学プロ グラム				—		—	2	—
		建築学プログラム				—		5	4	—
	計		355	244	49	一般推薦 33 サイエンス推薦 5	38	5	19	0
福祉健康科学部	福祉健康 科学科	理学療法 コース	30	22	3	—	—	—	5	
		社会福祉実践 コース	35	23	4	普通推薦 7 福祉推薦 1	8	—	—	
		心理学コース	35	27	—	—	—	—	8	
	計		100	72	7	8	0	0	13	
合計			1070	637	165	161	0	107		

【注1】「学校推薦型選抜 I」及び「総合型選抜 I」は大学入学共通テストを課さないもの、「学校推薦型選抜 II」及び「総合型選抜 II」は大学入学共通テストを課すものを表します。

【注2】経済学部は、入学後、2年次に所属学科を決定します。

【注3】各学部の学校推薦型選抜、総合型選抜の入学者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜で補充することがあります。

【注4】経済学部一般選抜後期日程の募集人員には帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜の募集人員（若干名）を含みます。そのため、これらの入試で合格者が出た場合は、その人数を考慮して、後期日程の合格者を決めることがあります。

医学部看護学科一般選抜後期日程の募集人員には社会人選抜の募集人員（若干名）を含みます。そのため、この入試で合格者が出た場合は、その人数を考慮して、後期日程の合格者数を決めることがあります。

【注5】医学部医学科一般選抜前期日程において、一般枠、地元出身者枠のどちらか一方が定員を満たした以降は、定員に満たない枠について、当該枠の専願者及び併願者を総合得点の高い順から合格者とします。

【注6】数理科学プログラム、物理学連携プログラム、地域環境科学プログラムでは後期日程のプログラム仮配属はありません。

【理工学部について】

一般選抜について

理工学部理工学科一般選抜（前期日程）では、出願時に全9プログラム（数理科学、知能情報システム、物理学連携、電気エネルギー・電子工学、機械工学、知能機械システム、生命・物質化学、地域環境科学、建築学）から、第1志望から順に最大第9志望まで選んで出願することができます。また、理工学部理工学科一般選抜（後期日程）では、出願時に6プログラム（知能情報システム、電気エネルギー・電子工学、機械工学、知能機械システム、生命・物質化学、建築学）から、第1志望から順に最大第6志望まで選んで出願することができます。ただし、後述する理科の科目選択によるプログラム制限がある場合はこの限りではありません。合否判定は、受験者を成績順に並べ、上位より志望プログラムに仮配属を行います。募集の目安は下記のとおりです。なお、合否判定及びプログラム仮配属についての詳細は51～56ページを参照してください。

プログラム群	プログラム	募集の目安	
		前期日程	後期日程
数学、情報システム	数理科学プログラム	13	
	知能情報システムプログラム	39	9
物理、電子電気エネルギー	物理学連携プログラム	10	
	電気エネルギー・電子工学プログラム	46	9
機械、メカトロニクス	機械工学プログラム	42	10
	知能機械システムプログラム	16	6
化学、生命・物質科学	生命・物質化学プログラム	37	7
環境科学、建築	地域環境科学プログラム	13	
	建築学プログラム	28	8
合計		244	49

※数理科学プログラム、物理学連携プログラム及び地域環境科学プログラムでは後期日程受験者のプログラム仮配属はありません。

プログラム配属及び入学後の教育方法について

一般選抜による合格者は入学時に合格したプログラムに仮配属されます。

1年次には専門性の近いプログラム群に所属し、分野的に共通の基盤となる基礎的な学問体系にかかる理解を深めます。2年次以降に各プログラムへ本配属となり、専門性を高めていきます。基本的には仮配属プログラムと同じプログラムに本配属されますが、分野を変更したい学生に向けて全プログラムを対象とした転プログラムが可能です。また、2年次で転プログラムしておらず、転プログラム後も4年での修了が見込める場合に限り、学部の定める基準を満たしていれば、3年進級時の転プログラムも可能です。

転プログラムは、学部の定める成績基準を満たすとともに、転入プログラムの受入上限（おおむね募集の目安の110%程度）を超えない範囲で認められます。

※転プログラム希望者が受入上限数を超えた場合には、学部の定める方法で審査を行い判定します。

2. 出願資格

1 令和5年度「大学入学共通テスト」で本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年（2023年）3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年（2023年）3月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和5年（2023年）3月31日までにこれに該当する見込みの者
- なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。（32ページの「7. 入学資格審査」を参照）

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

2 医学部医学科地元出身者枠の志願者は、上記出願資格に加え、次の要件を満たす者です。

- (1) 大分県内の小学校、中学校又は高等学校を卒業し、大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者（令和5年（2023年）3月に大分県内の高等学校卒業見込みの者を含む。）
- (2) 卒業後、初期研修2年間を含む3年間を大分大学医学部附属病院あるいは大分大学が指定する医療機関等で臨床研修に従事することを確約できる者

※地元出身者枠として出願資格を満たす者は、一般枠と併願することができ、第1志望、第2志望を選択します。

3. 志願学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般選抜（個別学力検査）について、前期日程から1つ、後期日程から1つ、公立大学中期日程から1つの合計3つの国公立大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

※公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照

(1) 教育学部

志願できるコースは、前期日程及び後期日程とも1つのみです。

(2) 経済学部

前期日程及び後期日程とも各学科の募集人員を一括して募集し、所属学科は入学後、2年次に決定します。

(3) 医学部

志願できる学科は、前期日程及び後期日程とも1つのみです（ただし、医学科では後期日程は実施しません）。

(4) 理工学部

(ア) 志願できるプログラムは、前期日程で第9志望まで、後期日程で第6志望までです。また、全ての志望順位の記入は必須ではありませんが、記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

(イ) 前期日程において、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第1志望とする場

合は、個別学力検査の「物理」を選択していることが必要です。個別学力検査の「物理」を選択していない志願者が物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第1志望プログラムとした場合は、第2志望プログラム以下の数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムのうち、最上位の志望プログラムが第1志望プログラムとして判定されます。

(ウ) 前期日程及び後期日程とも、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストの「物理」を選択していることが必要です。大学入学共通テストの「物理」を選択していない志願者がこれらのプログラムを志望プログラムに記入した場合は、これらのプログラムの配属対象とはなりません。

(5) 福祉健康科学部

志願できるコースは、前期日程及び後期日程とも1つのみです。

4. 出願期間及び出願手続

一般選抜は、インターネット（登録はスマートフォン可）を利用した出願です。

出願に当たっては、下記（１）～（４）の全ての手続が必要です。いずれか１つでも出願期間内に完了できない場合、出願を受理できません。

出願書類提出期間：**令和5年（2023年）1月23日（月）～2月3日（金）（消印有効）**

※インターネット出願登録及び入学検定料の支払いは1月16日（月）から可能です（下記（１）～（４））。

※前期、後期とも出願する場合は、前期、後期それぞれで対応が必要となります。

（１）インターネット出願ページにアクセス・入力・登録（一時保存可）

以下のURLからインターネット出願ページにアクセスし、ガイダンスページにて出願方法及び入学検定料支払い方法等を確認の上、出願登録を行ってください。（本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。）なお、このURLは大分大学ホームページからもリンクしています。

出願登録ページ <https://www.guide.52school.com/guidance/net-oita-u/>

※登録にはメールアドレスが必要です。登録したメールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを送信します。スマートフォンのメールアドレスでも登録できます。

※必要事項の入力が完了した時点（入力内容の確認画面）で入力内容を印刷し、**一時保存する** ボタンを押して、一度画面を閉じます。印刷物により出願登録した内容に間違いがないことを確認した上で、出願手続を再開してください。

スマートフォンを利用するなど印刷できない場合は、画面上で十分ご確認願います。

※入学検定料の入金前であれば、登録内容の削除が可能です。

（２）入学検定料17,000円の支払い（別途払込手数料900円が必要です。）

※入学検定料の支払い手続き完了後は、登録内容の変更はできません。

（３）証明写真データのアップロード及び登録

（４）「出願確認票」及び「宛名ラベル」の印刷並びに出願書類送付

入学検定料のお支払い及び証明写真データの登録完了後に印刷が可能となりますので、インターネット出願システムからA4サイズの普通紙に**カラー印刷（医学科、先進医療科学科は両面）**し、「宛名ラベル」を市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、「出願確認票」及び「調査書」等出願に必要な書類（次ページの表参照）をこの封筒に入れ、「**速達書留**」で郵送してください。

【注】出願書類提出期間後の消印が押されている出願書類は受理しませんので、ご注意ください。

問合せ先

問合せ先	問合せ内容
志願受付操作サポート窓口 電話：0120-752-257 (出願登録期間の9:00~20:00)	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
大分大学学生支援部入試課 電話：097-554-7471 (平日の9:00~17:00) E-mail:nyukikak@oita-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 ・入学検定料免除 ・「J-Bridge System」(JBS)の操作方法 等

出願に必要な書類等

(1) 出願書類等 (出願期間に間に合うよう準備をしてください。)

書類等名	内容等	該当者
インターネット登録・印刷システムより	<p>インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続き」→「出願書類」の「2. 出願書類の郵送」の「No. 1 出願確認票 (提出用)」をA4サイズの普通紙にカラー印刷 (医学科、先進医療科学科は両面) し、令和5共通テスト成績請求票 (前期出願者は国公立前期日程用、後期出願者は国公立後期日程用) を貼付して提出してください。</p> <p>(証明写真データの登録) インターネット出願システムの「申し込み一覧」画面の「写真の登録・確認」から、志願者本人の写真をアップロードし、登録してください。 ※写真は、100KB～5MBのjpg又はpngデータとし、上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを登録してください (横に伸びたものなど、本人確認に適さない写真は登録しないでください)。</p> <p>宛名ラベル インターネット出願システムの「申し込み一覧」→「出願の手続き」→「出願書類」の「2. 出願書類の郵送」の「No. 4 宛名ラベル」を印刷し、前ページの (4) のとおりに貼り付けてください。</p>	<p>全員 (前期、後期とも出願する場合は前期、後期それぞれで対応が必要です。)</p>
志願者が各自で準備するもの	<p>(1) 高等学校等を卒業した者及び令和5年 (2023年) 3月卒業見込みの者は、文部科学省所定の様式により、出身高等学校長等が令和4年 (2022年) 4月以降に作成し厳封したもの。 ※出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えた場合又はその他の事情により調査書が得られない場合には、高等学校長等が作成した、①「調査書が発行できない旨の理由書」、②「卒業証明書」、③「成績証明書 (又は単位修得証明書)」を調査書の代わりに提出してください。 なお、③「成績証明書 (又は単位修得証明書)」が得られない場合は、高等学校長等が作成した「成績証明書 (又は単位修得証明書)」が発行できない旨の理由書を③の代わりに提出してください。</p> <p>(2) 高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校等に在学したことがある者は、在学期間中の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。</p> <p>(3) 高等専門学校第3学年修了 (見込みを含む。以下同じ。) 者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身校において文部科学省所定の調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。</p> <p>(4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した (見込みを含む。以下同じ。) 者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格 (フランス共和国) 取得者、GCE-Aレベル資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。</p> <p>(5) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により入学資格を認定された者は、当該教育施設において作成した成績証明書又は文部科学省所定の調査書に準じて作成したものを調査書に代えることができます。</p> <p>※改姓等により、現在の氏名と調査書等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本又は戸籍謄本を提出してください。</p>	<p>全員 (前期、後期とも出願する場合は2通必要です。)</p>
小学校、中学校又は高等学校の卒業証明書	<p>出身学校長が証明したものを提出してください。なお、小学校、中学校及び高等学校の複数が大分県内の場合は、いずれか1つの卒業証明書を提出してください (高等学校卒業見込みの者は、卒業見込み証明書でも可)。 ※「卒業証書の写し」は不可。必ず、「卒業証明書」を提出してください。 ※改姓等により、現在の氏名と卒業証明書の氏名が相違する場合は、戸籍抄本又は戸籍謄本を提出してください。</p>	<p>医学部医学科地元出身者枠のみ</p>
志願調書	<p>医学部看護学科 (前期日程・後期日程) を志願する者は、本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、志願者本人が自筆で記入してください。</p>	<p>医学部看護学科のみ</p>
第1段階選抜可否通知用返信用封筒	<p>市販の封筒 (長形3号) に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、344円分の切手を貼ってください。</p>	<p>医学部医学科・看護学科・先進医療科学科 福祉健康科学部理学療法コース 社会福祉実践コース 心理学コース (前期、後期とも出願する場合は2通必要です。)</p>

<p>入学検定料 (17,000円)</p>	<p>インターネット出願システムの「お支払い方法確認」画面にて確認の上、お支払いください。</p> <p>出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。</p> <p>(ア) 入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合(返還額:17,000円) (イ) 入学検定料を誤って二重に振込んだ場合(返還額:17,000円) (ウ) 出願受付後に、大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合(返還額:13,000円) (エ) 医学部又は福祉健康科学部の第1段階選抜で不合格となった場合(返還額:13,000円)</p> <p>※(ア)又は(イ)に該当する場合は、32ページ「(4)入学検定料の返還請求」を参照してください。 ※(ウ)又は(エ)に該当する場合は、本学から該当者に返還に必要な書類を送付します。</p> <p>災害で被災された志願者には、本学が認めた場合、入学検定料免除の特別措置を行いますので、出願前に学生支援部入試課(TEL:097-554-7471)へ連絡してください。(33ページ参照)</p>	<p>全員 (前期、後期とも出願する場合は前期、後期それぞれに入学検定料が必要です。)</p>
<p>専用サイト(JBS)より登録</p>	<p>インターネット出願システムと連動した専用サイト「J-Bridge System」(電子申請システム)にアクセスし、所定の項目を入力するとともに、その根拠となる資料等がある場合は登録してください。 ※特色加点の詳細は、経済学部前期日程47~49ページ、理工学部前期日程51~53ページを参照してください。</p> <p>【申請期間:令和5年(2023年)1月16日(月)~2月3日(金)】 ※「提出する」ボタンをクリックしなければ提出が完了しないので注意してください。 ※出願書類を大学へ送付後も上記期間中は申請内容の修正ができます。ただし、「提出する」ボタンをクリックすると修正ができなくなりますので注意してください。</p> <p>登録内容について、当該サイトより印刷したものを控えとして保管しておいてください(提出の必要はありません)。 ※印刷は登録画面にある「印刷する」からブラウザの印刷機能を利用してください。</p> <p>インターネット出願システムで「申請する」とした場合でも、「J-Bridge System」に登録がない場合は、採点の対象になりません。必ず、インターネット出願システムで「申請する」とした上で、「J-Bridge System」に登録も行ってください。</p>	<p>経済学部前期日程及び理工学部前期日程の申請者のみ</p>

(2) 出願に際しての注意事項

- (ア) 国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く)の総合型選抜及び学校推薦型選抜合格者は、合格した大学・学部の定める手続により、当該大学・学部への入学辞退を許可された場合を除き、個別学力検査を受験しても本学の合格者とはなりません。
※公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org/nyushi>)を参照
- (イ) 国公立大学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、後期日程を受験しても本学の合格者とはなりません。
- (ウ) 出願書類等に不備があるものは受付できません。
- (エ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (オ) 出願書類等は受付後は返却できません。
- (カ) 出願に当たっては、志願する学部・課程・学科・コース等が指定する大学入学共通テストの教科・科目(35~44ページ参照)を受験しているか、必ず志願者本人が確認してください。
出願受付後に、独立行政法人大学入試センターから大学入学共通テストの成績提供を受けた結果、志願する学部・課程・学科・コース等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していないことが判明した場合は、出願無資格者となり、本学個別学力検査を受験することができません。

(キ) 出願確認票に「令和5共通テスト成績請求票(国公立前期日程用又は国公立後期日程用)」を貼付していない場合は、出願を受理できません(「令和5共通テスト成績請求票(国公立前期日程用又は国公立後期日程用)」を紛失している場合は、大学入学共通テスト受験案内を参照の上、至急、独立行政法人大学入試センターに再発行申請を行ってください)。

(3) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合又は入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後ただちに、次の①~⑦を明記した「入学検定料返還請求願」(A4サイズ、様式任意)を作成し、封筒の表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きし、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受理後、返還に必要な書類を送付します。

・入学検定料返還請求願に記載する事項

①前期日程か後期日程か、②学部名、③整理番号、④氏名(フリガナ)、⑤郵便番号及び住所、⑥連絡先電話番号、⑦返還請求理由

・請求期限：令和5年(2023年)2月24日(金)

・請求先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

※入学検定料の返還は、3月以降になります。

5. 受験票(受験番号確定メールの送信・受験票の印刷)

受験番号確定メールは2月14日(火)に送信します(医学部及び福祉健康科学部を除く)。

メール受信後、インターネット出願システムの申し込み一覧画面から受験票を各自でA4サイズ普通紙にカラー印刷して試験当日持参してください。

また、試験当日は大学入学共通テスト受験票も持参してください。

※メール送信日から3日経過しても受験番号確定メールが届かない場合は、速やかに学生支援部入試課に連絡してください。

なお、第1段階選抜を行う可能性がある医学部は49ページ、福祉健康科学部は58ページに記載の【第1段階選抜について】を確認してください。

6. 個人情報の取扱い

(1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(2) 志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除(猶予)、奨学金の申請及び留学を希望した場合には、その選考資料として利用することがあります。

7. 入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願を希望する者は、入学資格認定の審査を行いますので、事前に学生支援部入試課へ申出を行い、関係書類を令和4年(2022年)12月23日(金)(ただし、大学入学共通テストを受験後、本学に志願変更した場合は令和5年(2023年)1月18日(水))までに提出してください。

<参考>学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

申出先 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課（電話：097-554-7471）

8. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。入学者選抜において、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはありません。

(1) 申出期限：令和5年（2023年）1月4日（水）17：00までに申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点で速やかに申し出てください。申出期限経過後でも可能な限り相談に応じますが、十分な対応ができない場合もあります。

(2) 申出方法：本学ホームページより「令和5年度（2023年度）大分大学入学者選抜試験受験上の配慮申請書」をダウンロードして必要事項を記入し、診断書等必要書類添付の上、提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

※大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた場合は、その写しを添付してください。

(3) 申 込 先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 電話：097-554-7471

9. 災害で被災した者等の入学検定料等の免除及び修学上の特別な配慮について

災害に関する特別措置（入学検定料免除等）につきましては、本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/important.html>）でお知らせします。

10. 令和5年度（2023年度）入学者選抜の実施教科・科目等及び配点

教科・科目名の表記方法について

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目名は、次のように略しています。

・国語→国

『国語』→「国」

・地理歴史→地歴

「世界史A」→「世A」、「世界史B」→「世B」、「日本史A」→「日A」、

「日本史B」→「日B」、「地理A」→「地理A」、「地理B」→「地理B」

※「同一名称のA・B出題科目」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」を指します。

・公民→公民

「現代社会」→「現社」、「倫理」→「倫」、「政治・経済」→「政経」、

『倫理、政治・経済』→「倫・政経」

※「同一名称を含む出題科目」とは、「倫理」と『倫理、政治・経済』、「政治・経済」と『倫理、政治・経済』を指します。

・数学→数

「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」、『数学Ⅰ・数学A』→「数Ⅰ・数A」、

「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」、『数学Ⅱ・数学B』→「数Ⅱ・数B」、

『簿記・会計』→「簿」、『情報関係基礎』→「情報」

・理科→理

「物理基礎」→「物基」、「化学基礎」→「化基」、「生物基礎」→「生基」、「地学基礎」→

「地基」、「物理」→「物」、「化学」→「化」、「生物」→「生」、「地学」→「地学」

※「基礎を付した科目」とは、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」を指します。

※「基礎を付さない科目」とは、「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。

※「同一名称を含む出題科目」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」を指します。

・外国語→外

『英語』→「英」、「ドイツ語」→「独」、「フランス語」→「仏」、「中国語」→「中」、

『韓国語』→「韓」

(注) 『 』で記載しているものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

(2) 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記(1)によるほか次のように略しています。

・「国語総合」→「国総」

・「数学A」→「数A」、「数学B」→「数B」、「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」

・「コミュニケーション英語Ⅰ」→「コ英Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」→「コ英Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」→「コ英Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」→「英表Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」→「英表Ⅱ」

◎45～58ページの「大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 (令和4年度(2022年度)) 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										その他の 入試方法等																								
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	ペーパー インタビュー	配 点 合 計																										
教育学部 [3.8] 150人 前期 75 後期 25 推薦 40 総合 10	初等中等 教育コース 2月25日	前期	国	国	国 数 外	国総(漢文を除く) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ 英表Ⅰ・英表Ⅱ } から1 ※4	2段階 選 抜	大学入学共通 テスト	200	(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900	学校推薦型選抜 総合型選抜 追加合格 第2次募集																								
			地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から1又は2				その他	ペーパーインタビュー ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	個別学力検査	[150]※4		[150]※4		[150]※4			150	300																						
			公民	現社、倫、政経、倫・政経 } ※2						計	350※4	200	200	350※4	100 200 100 200	200		200	150	1200																					
			外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]																	※1	小論文	200	200	200	100 200	200	200	100	200	1200										
																																その他	ペーパーインタビュー	200	200	200	100 200	200	100	200	1200
	個別学力検査	[150]※4				[150]※4				100	200	300																													
			計	200				200	200				100 200	200	100	200		1200																							
																			前期	2月25日	国 数 外	国総(漢文を除く) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ 英表Ⅰ・英表Ⅱ } から1 ※4	2段階 選 抜	大学入学共通 テスト	200	(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900									
																																	特別支援 教育コース 10人 前期 3 後期 2 推薦 5	前期	2月25日	国 数 外	国総(漢文を除く) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ 英表Ⅰ・英表Ⅱ } から1 ※4	2段階 選 抜	個別学力検査	[150]※4	
	その他	ペーパーインタビュー ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」			350※4	200	200			350※4	100 200 100 200	200																													
			後期	3月12日				大学入学共通 テスト	200				(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200																									
個別学力検査																	[150]※4			[150]※4		100	200	300																	
																									計	200	200	200	100 200	200	100	200	1200								

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①もしくは②、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③もしくは④
 ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。
 ※4 個別学力検査の〔 〕で示した配点は、個別学力検査で選択した教科の得点を合否判定に使用します。

◎45～58ページの「大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 (令和4年度(2022年度)) 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								特色 加点	その他の 入試方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接			配 点 計		
経済学部 [3.3] 270人 前期 120 後期 65 推薦 55 総合 30	経済学科 経営システム 学科 地域システム 学科 社会イノベー ション学科	前期 2月25日	国	国	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ } から1 ※6 ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	大学入学共通 テスト	100	100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200			800	学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 社会人 私費外国人 追加合格 第2次募集			
			地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から2 ※2				計										200	
			公民	現社、倫、政経、倫・政経 } の2					[200]※6										
			数	数Ⅰ・数A と 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2					[400]※6	100									
			理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 } ①又は②					<200>										
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]																
		後期 3月12日	国	国	その他	小論文	大学入学共通テスト	100	100×2	100			100				500		
			地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から2 ※2	計		個別学力検査							200			200		
			公民	現社、倫、政経、倫・政経 } の2			100	200	100			100	200		700				
			数	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿、情報から1 ※5															
外	英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目又は5教科5科目]																		

- ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ※5 「数学」の科目において、2科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
- ※6 個別学力検査及び計の〔 〕と< >で示した配点は、個別学力検査で選択した教科の得点を合否判定に使用します。

◎45～58ページの「大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 (令和4年度(2022年度) 志願倍率)	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								その他の 入試方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接		配点 合計		
医学部 [4.0] 195人 前期 126 後期 19 推薦 15 総合 35	医学科 100人 前期 65 (一般枠 55) (地元出身枠 10) 総合 35 (一般枠 22) (地域枠 13)	前期 2月25日 と26日	国	国	数理 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接(個人面接) ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 ※数Bは「数列、ベクトル」	約3倍	大学入学共通テスト	100	50	50×2	50×2	100			450	総合型選抜 追加合格 第2次募集		
			地歴	世B、日B、地理B } から1 ※7			物基・物								150		550	
			公民	倫・政経 } から1 ※7			化基・化								100		1000	
			数	数Ⅰ・数Aと } の2			生基・生											
			理	数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2			コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ											
			外	物、化、生から2 } の2			面接(個人面接)											
	看護学科 60人 前期 35 後期 10 推薦 15	前期 2月25日 と26日	国	国	その他 小論文 面接(個人面接)	約3倍	大学入学共通テスト	100	50	50×2	100	100			450	学校推薦型選抜 社会人 追加合格 第2次募集		
			地歴	世A、世B、日A、日B、 } から1 ※8			面接(個人面接)								100		200	
			公民	地理A、地理B } から1 ※8											100		650	
			数	現社、倫、政経、倫・政経 } から1 ※8														
			後期	数Ⅰ・数Aと } の2														
			3月12日	数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2														
生命健康 科学コース 20人 前期 15 後期 5 臨床医工 学コース 15人 前期 11 後期 4	前期 2月25日 と26日	国	国	数理 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1 生基・生 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接(個人面接) ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 ※数Bは「数列、ベクトル」	約3倍	大学入学共通テスト	200	100	100×2	100×2	200			900	追加合格 第2次募集			
		地歴	世A、世B、日A、日B、 } から1 ※8			物基・物								100		400		
		公民	地理A、地理B } から1 ※8			化基・化								100		1300		
		数	現社、倫、政経、倫・政経 } から1 ※8			生基・生												
		後期	数Ⅰ・数Aと } の2															
		3月12日	数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2															
先進医療科学科	前期 2月25日 と26日	国	国	その他 小論文 面接(個人面接)	約3倍	大学入学共通テスト	200	100	100×2	100×2	200			900	追加合格 第2次募集			
		地歴	世A、世B、日A、日B、 } から1 ※8			面接(個人面接)								150		300		
		公民	地理A、地理B } から1 ※8											150		1200		
		数	現社、倫、政経、倫・政経 } から1 ※8															
		後期	数Ⅰ・数Aと } の2															
		3月12日	数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2															

※7 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、出願資格を満たさないこととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

※8 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

※9 「理科」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は出願資格を満たさないこととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

◎45～58ページの「大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 (令和4年度(2022年度)) 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								特色 加点	その他の 入試方法等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接			配点 合計	
理工学部 [4.6] 355人 前期 244 後期 49 推薦 43 総合 19 理工学科	物理学連携 プログラム 10人 前期 10 電気エネルギー・ 電子工学プログラム 65人 前期 46 後期 9 推薦 8 総合 2 機械工学 プログラム 67人 前期 42 後期 10 推薦 10 総合 5	前期 2月25日	国	国	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 (ただし、第一志望 とする場合は物理必須) ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	150 150	75 75	50×2 200 300	50×2 200 300	200 200 200				625 400 1025	20	学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 私費外国人 追加合格 第2次募集
			地歴 公民	世B、日B、地理B } から1 ※7 倫・政経														
			数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2														
			理	物と 化、生から1 } の2														
			外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]														
			その他	面接(個人面接又は集団面接)														
	情報システム プログラム 28人 前期 16 後期 6 推薦 5 総合 1 建築学 プログラム 45人 前期 28 後期 8 推薦 5 総合 4	後期 3月12日	国	国	その他	面接(個人面接又は集団面接)	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	125 125	75 75	150×2 300	100×2 200	200 200 200				900 200 1100		
			地歴 公民	世B、日B、地理B } から1 ※7 倫・政経														
			数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2														
			理	物と 化、生から1 } の2														
			外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]														
			その他	面接(個人面接又は集団面接)														
数理学 プログラム 13人 前期 13 情報システム プログラム 60人 前期 39 後期 9 推薦 7 総合 5 生命・物質化学 プログラム 52人 前期 37 後期 7 推薦 8 地域環境科学 プログラム 15人 前期 13 総合 2	前期 2月25日	国	国	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 生基・生 } から1 ※数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	150 150	75 75	50×2 200 300	50×2 200 300	200 200 200				625 400 1025	20	学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒 私費外国人 追加合格 第2次募集	
		地歴 公民	世B、日B、地理B } から1 ※7 倫・政経															
		数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2															
		理	物 化 } から2 生															
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]															
		その他	面接(個人面接又は集団面接)															
	後期 3月12日	国	国	その他	面接(個人面接又は集団面接)	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	125 125	75 75	150×2 300	100×2 200	200 200 200				900 200 1100			
		地歴 公民	世B、日B、地理B } から1 ※7 倫・政経															
		数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } の2															
		理	物 化 } から2 生															
		外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]															
		その他	面接(個人面接又は集団面接)															

※7 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、出願資格を満たさないこととなりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

◎45～58ページの「大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 (令和4年度(2022年度) 志願倍率)	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										その他の 入試方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配 点 計					
福祉健康 科学部 [3.6] 100人 前期 72 後期 7 推薦 8 総合 13	理学療法 コース 30人 前期 22 後期 3 総合 5	前期 2月25日	国	国	その他	小論文 面接(個人面接)	約3倍	大学入学共通 テスト	200	100	100×2	③50×2+100 ④100×2	200			900	総合型選抜 追加合格 第2次募集			
			地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B				から1 ※8	個別学力検査							300		100	400	
			公民	現社、倫、政経、倫・政経					計	200	100	200	200	200	300	100		1300		
		後期 3月12日	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	の2	その他	小論文 面接(個人面接)	約10倍	大学入学共通 テスト	200	100	100×2	③50×2+100 ④100×2	200				900		
			理	③物基、化基、生基、地基から2と 物、化、生、地学から1 ※10	③又は④				個別学力検査							100		300	400	
			外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7～8科目]					計	200	100	200	200	200	200	100		300	1300	
	福祉健康科学科	社会福祉 実践コース 35人 前期 23 後期 4 推薦 8	前期 2月25日	国	国	その他	小論文 面接(個人面接)	約3倍	大学入学共通 テスト	200	100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200			900	学校推薦型選抜 追加合格 第2次募集		
				地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B				から2 ※2	個別学力検査							300		100	400
				公民	現社、倫、政経、倫・政経					計	200	200	200	100	200	300	100		1300	
			後期 3月12日	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	の2	その他	小論文 面接(個人面接)	約10倍	大学入学共通 テスト	200	100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200				900	
				理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1	①又は②				個別学力検査							100		300	400
				外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]					計	200	200	200	100	200	100	300		1300	
心理学 コース 35人 前期 27 総合 8	前期 2月25日	数	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	の2	その他	小論文 面接(グループディスカッション※11)	約3倍	大学入学共通 テスト	200	(100×2) (100)	100×2	①(50×2) ②(100) ③(50×2+100) ④(100×2)	200			900	総合型選抜 追加合格 第2次募集			
		地歴	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B	から1又は2				個別学力検査							100	300		400		
		公民	現社、倫、政経、倫・政経					※2	計	200	200	200	100	200	100	300		1300		
		理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 ③物基、化基、生基、地基から2と 物、化、生、地学から1 ※3 ④物、化、生、地学から2	※1					外	英、独、仏、中、韓から1 [5教科7～8科目又は6教科7～8科目]										

- ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①もしくは②、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③もしくは④
- ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。
- ※8 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
- ※10 「理科」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、出願資格を満たさないこととなります。
- ※11 受験者数によりグループを編成できない場合は、試験当日に個人面接に変更することがあります。

◎大学入学共通テスト・個別学力検査、その他の注意事項

全学部共通事項

【大学入学共通テストについて】

(1) 「英語」にはリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、出願資格はありません（リスニングを免除された者は除く）。

「英語」は、リーディング100点、リスニング100点、合計200点の配点となっていますが、学部ごとに下記のように200点満点に換算して配点します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点を200点満点に換算して利用します。

- ・教育学部、経済学部、福祉健康科学部
リーディング160点、リスニング40点 合計200点
- ・医学部、理工学部
リーディング100点、リスニング100点 合計200点

(2) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

(3) 大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。なお、本学では令和5年度（2023年度）の入学試験において、令和4年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績は利用しません。

【個別学力検査について】

個別学力検査に必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【追加合格、欠員補充第2次募集について】

後期日程入学手続締切期日までに入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、原則として追加合格者を決定し補充しますが、欠員補充第2次募集を行うこともあります。

【その他】

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査及び出身高等学校長等が作成した調査書等に基づいて総合判定します。

教育学部

【大学入学共通テストについて】

・35、36ページの大学入学共通テストの（ ）で示した配点の取扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
地歴 公民 理科	<p>世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、倫・政経 } ※2</p> <p>①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 ③物基、化基、生基、地基から2と 物、化、生、地学から1 ※3 ④物、化、生、地学から2</p> <p>※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①もしくは②、又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③もしくは④</p> <p>※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。</p>	<p>「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し、理科の科目において、</p> <p>(a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点の2つ</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">合否判定に使用する得点</div> </div> <p>ただし、理科の科目において同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点のもの</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">合否判定に使用する得点</div> </div> <p>(b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は、</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の第1解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の第2解答科目の得点</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点のもの</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">合否判定に使用する得点</div> </div>

【個別学力検査について】

前期日程

- (1) 国語、数学、外国語から試験開始後に1教科を選択して受験してください。
- (2) ペーパーインタビューは、コースごとに行います。出題されたテーマに関する質問に筆記で回答をし、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、他者との関係における主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。
- (3) 調査書はペーパーインタビューの参考にします。

後期日程

- (1) 小論文はコースごとに学校教育に関わる出題を行い、文章の理解力、論理的思考力、表現力、並びに教育に対する関心などを評価します。
- (2) ペーパーインタビューはコースごとに行います。出題されたテーマに関する質問に筆記で回答をし、そのテーマに対する理解力や自身の考え・意見の表現力、他者との関係にお

- ける主体性や協働性、並びに教育への意欲と関心などを評価します。
- (3) 調査書はペーパーインタビューの参考にします。

【同点者について】

- それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

経済学部

【大学入学共通テストについて】

- 37、38ページの大学入学共通テストの()で示した配点の取扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
理	①物質、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 } ①又は②	<p>前期日程の理科の科目において、</p> <p>(a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">高得点のものを合否判定に使用</div> </div>
		<p>(b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は、</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">第1解答科目</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">第2解答科目</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第1解答科目の得点を合否判定に使用</div> </div>

【個別学力検査について】

前期日程

- (1) 個別学力検査等の配点等の〔 〕と< >で示した配点は、個別学力検査で選択した教科の得点を合否判定に使用します。
- (2) 合否判定について
- 前期日程は、大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績に特色加点を加えた合計点により合否判定を行います。特色加点は、大学入学共通テスト、個別学力検査の合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみ（特色加点は0点）で合否判定を行います。
- (3) 特色加点について

高等学校入学以降において、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、志願者が主体的に興味と関心をもって取り組んできた、学び・課外活動等様々な活動及びその経験の本学部入学後の活用について、活動の根拠となる資料等とともにWebを通じて出願時に提出してください。

上記の活動の具体例としては、探究活動などの学習活動、生徒会・学校行事・部活動等の課外活動、家庭・地域など学校以外の活動、留学体験、コンテスト等での表彰・顕彰、資格・検定取得等、学校・地域・家庭での「多様な人々との協働」の中で志願者が積極的に興味と関心をもって取り組んだ活動となります。

根拠となる資料等の具体例としては、プレゼンテーションファイル・論文等の学習成果物や、活動に関わる広報・新聞等の印刷物・ホームページ記事、賞状、資格・免許証等が

考えられます。

これらに基づいて、活動実績の優劣ではなく、本学部がアドミッション・ポリシーに定める「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

特色加点申請書の作成要領について

入力項目は以下のとおりです。

[1] 特色加点の対象となる取り組みのタイトル

高等学校入学以降、友人、先輩後輩、先生、家族、地域の人々と一緒に、あるいは支えられて、興味と関心をもつことのできた活動、取り組みはなんですか。その取り組みのタイトルを記入してください。

[2] 特色加点の対象となる取り組みの内容

特色加点の対象となる取り組みについて400字以内で具体的に記入してください。

例えば、探究活動などの学習活動、生徒会・学校行事・部活動等の課外活動、家庭・地域など学校以外の活動、留学体験、コンテスト等での表彰・顕彰、資格・検定取得等、学校・地域・家庭での「多様な人々との協働」の中で積極的に興味と関心をもって取り組んだ活動について述べてください。

[3] 上記 [2] に関する根拠資料や参考資料等

根拠となる資料等として、プレゼンテーションファイル・論文等の学習成果物や活動に関わる広報・新聞等の印刷物・ホームページ記事、賞状、資格・免許証等がある場合は登録してください。

なお、登録は下記の種類のファイルとし、サイトのURLや動画ファイルは避けてください。

対象とするファイルの拡張子：png、jpg、jpeg、gif、pdf、xlsx、docx、pptx、rtf、txt、csv

(ファイル登録は1つまで、ファイルサイズの上限は10MB)

[4] アドミッション・ポリシーや入学後の学びとの関連性

大学の入学後、上記[2]の経験をどのように活かされますか、また活かそうと考えていますか。本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえつつ、200字程度で述べてください。

【「J-Bridge System」イメージ画面】 ※実際の入力画面とは異なることがあります。

※下記イメージ画像の「提出する」ボタンをクリックしなければ提出が完了にならないので注意してください。

※特色加点申請書については、出願書類を大学へ送付後も出願期間中は申請内容の修正ができます。ただし、「提出する」ボタンをクリックすると修正ができなくなります。



後期日程

- ・小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入学共通テストを補うものとして、次の資質をみようとすものであり、広く社会科学的素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。

(a) 理解力 (あるいは大意把握力) (b) 論理的思考力 (c) 表現力

これらに加えて、高等学校入学以降の様々な主体的・協働的な活動について、「自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲」を評価します。

医学部

【第1段階選抜について】

- ・医学科、看護学科及び先進医療科学科において、入学志願者が著しく多い場合は、大学入学共通テストの成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第1段階選抜を行います。

前期日程

- ・医学科は一般枠と地元出身者枠を合わせて募集人員の約3倍まで、看護学科は募集人員の約3倍まで、先進医療科学科は募集人員の約3倍までを第1段階選抜の合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

後期日程

- ・看護学科は募集人員の約7倍まで、先進医療科学科は募集人員の約7倍までを第1段階選抜の合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

※第1段階選抜については、令和5年（2023年）2月14日（火）に合否を決定し、郵送により本人に通知します。なお、合格者には併せて面接の集合時刻を案内します。

試験当日は、インターネット出願システムの申し込み一覧画面から**受験票**を各自でA4サイズ普通紙に**カラー印刷**し、**大学入学共通テスト受験票と併せて持参**してください。

※受験番号確定メールは送信しません。

※第1段階選抜の実施の有無及び実施した場合は選抜結果の概要（志願者数及び第1段階選抜合格者数）を令和5年（2023年）2月14日（火）に本学ホームページでお知らせします。

【個別学力検査について】

前期日程

- (1) 医学科において、理科の科目は、試験開始後に2科目を選択してください。
- (2) 医学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。
 - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (3) 医学科の面接は、医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- (4) 看護学科の小論文は、課題式や資料式の小論文を出題し、論理的思考力、表現力、読解力及び看護学を学ぶための適性を評価します。
- (5) 看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。
- (6) 先進医療科学科において、理科の科目は、試験開始後に1科目を選択してください。
- (7) 先進医療科学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。
 - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
 - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
 - (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (8) 先進医療科学科の面接は、課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。

後期日程

- (1) 看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。
- (2) 先進医療科学科の小論文は、医学・医療に関する深い思考力、判断力、表現力を評価します。
- (3) 先進医療科学科の面接は、課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価します。

【同点者について】

同点者がいる場合は、次のとおりの取扱いとします。

前期日程

- ・医学科は大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aも同点の場合は、大学入学共通テストの外国語の高得点者を高順位とします。
- ・看護学科は大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。
- ・先進医療科学科は大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。

後期日程

- ・看護学科は大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。
- ・先進医療科学科は大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。

【一般枠と地元出身者枠の選抜方法について】

- (1) 地元出身者枠として出願資格を満たす者は、一般枠と併願することができ、第1志望、第

2 志望を選択します。

(2) 一般枠と地元出身者枠それぞれの定員を満たすまで、専願者と併願者（第1志望）を総合得点の高い順から志望する枠の合格者とします。

(3) 一般枠、地元出身者枠のどちらか一方が定員を満たした以降は、定員を満たしていない枠について、当該枠の専願者及び併願者を総合得点の高い順から合格者とします。

理工学部

【大学入学共通テストについて】

前期日程及び後期日程とも、物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストで「物理」を選択していることが必要です。「物理」を選択していない志願者がこれらのプログラムを志望プログラムに記入した場合は、これらのプログラムの配属対象とはなりません。また、これらのプログラムを配属対象から外した結果、どのプログラムの配属上限数内にも収まらない場合は、不合格と判定されます。

※物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを志望する場合は、大学入学共通テストにおいて「物理」・「化学」もしくは「物理」・「生物」の組み合わせで科目選択をしなければなりません。

【個別学力検査について】

前期日程

(1) 理科の出題範囲は次のとおりです。

(ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

(イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

(2) 物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第1志望とする場合は、個別学力検査の『物理』を選択していることが必要です。

・個別学力検査の『物理』を選択していない志願者は、数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラムから必ず第1志望を選んでください。『物理』指定のプログラム（物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラム）を第1志望プログラムとした場合は、第2志望プログラム以下の『物理』指定なしのプログラム（数理科学プログラム、知能情報システムプログラム、生命・物質化学プログラム、地域環境科学プログラム）のうち、最上位の志望プログラムが第1志望プログラムとして判定されます。この場合、当初の志望プログラム順位は第2志望以降に順次繰り下げられます。なお、個別学力検査の『物理』を選択していない志願者が『物理』指定なしのプログラムを1つも志望していない場合は、合否判定は行われません。

※個別学力検査の『物理』を選択していない志願者が物理学連携プログラム、電気エネルギー・電子工学プログラム、機械工学プログラム、知能機械システムプログラム、建築学プログラムを第2志望以下とする場合は、個別学力検査の『物理』は選択しなくても志望可能ですが、入学後、これらのプログラムに配属された場合は高校レベル

の物理分野の基礎能力が必要となりますので、考慮して志望プログラム順位を決めてください。

※具体的な例を55、56ページ「※前期日程の合否判定における個別学力検査「理科」の選択による志望プログラムの取扱いと合格プログラム判定の例」で示しています。

(3) 特色加点について

大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績、並びに特色加点により合格者を決定します。特色加点は、大学入学共通テスト、個別学力検査の合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びを、Webを通じて出願時に申請してください。主体的な活動や学びの具体例としては、探究型学習や課題研究などの学習研究活動、部活動や生徒会活動などの課外活動、ボランティアや地域活動などの社会活動、資格・検定取得、コンテスト等への参加、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。また、申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。根拠となる資料等の具体例としては、活動過程の記録（ポートフォリオ）、プレゼンテーションファイルや論文等の学習成果物、活動に関わる広報・新聞等の印刷物やホームページ記事、賞状、資格・免許証等が考えられます。これらに基づいて、活動実績の優劣ではなく、活動を通しての成長及び入学者選抜の基本方針で示す「主体性・協働力」、「知的好奇心・志望分野の課題への興味・意欲・関心・粘り強さ」、「自立的に考え、かつ他者と共同して取り組む姿勢」、「リーダーシップと行動力を発揮する意志」について総合的に評価します。

(4) 特色加点申請書の登録要領

特色加点申請書はインターネット出願システムと連動した専用サイト「J-Bridge System」から入力してください。

(注) インターネット出願システムで「申請する」とした場合でも、「J-Bridge System」に登録がない場合は、採点対象にはなりません。必ず、インターネット出願システムで「申請する」とした上で、「J-Bridge System」の登録も行ってください。

特色加点申請書の作成要領について

入力項目は以下のとおりです。

[1] 特色加点の対象となる活動や学びの取り組みのタイトル

高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びなどの取り組みの名称を記入してください。申請できる活動や学びの取り組みは1件です。既卒者は高等学校卒業後の取り組みも申請できます。

[2] 特色加点の対象となる活動や学びの取り組みの概要

申請する活動や学びの取り組みの概要と取り組んだ経緯、取り組みに対する申請者の思いや工夫や苦勞した点などについて、400字以内で具体的に記入してください。グループ等で取り組んだ場合は、申請者がグループの中でどのような役割を果たしたのか、具体的に記入してください。

[3] 上記 [2] に関する根拠資料や参考資料等

申請する活動や学びの取り組みの根拠となる資料がある場合は登録してください。添付できるファイルは3つ（1ファイルあたりのサイズの上限は10MB）までで、ファイルの種類（利用可能な拡張子）は以下のとおりとし、サイトのURLや動画ファイルは避けてください。

png、jpg、jpeg、gif、pdf、xlsx、docx、pptx、rtf、txt、csv、html

[4] 活動や学びの取り組みを通して身についたことと入学後の学びとの関連性

- ①志望動機、理工学に関わる分野への関心、本学入学後の目標などを記述してください。
- ②申請した活動や学びを通じて身についたことや成長した点、及びそれらの経験を大学入学後の学習や活動にどのように活かしたいかについて、①で記述した内容と本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、400字以内で具体的に記入してください。

【「J-Bridge System」イメージ画面】 ※実際の入力画面とは異なることがあります。

登録・編集

大分大学
一般選抜前期日程_理工学部_創生工学科 福祉メカトロニクスコース (プレビュー) (68suvvcvsvw)
一般選抜前期日程_理工学部_創生工学科 (申請1)

大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績、並びに特色加点により合格者を決定します。特色加点は、大学入学共通テスト、個別学力検査の合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。申請は任意とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びを、根拠となる資料等とともにWebを通じて出願時に提出してください。主体的な活動や学びの具体例としては、探究型学習や課題研究などの学習研究活動、部活動や生徒会活動などの課外活動、ボランティアや地域活動などの社会活動、資格・検定取得、コンテスト等への参加、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。また、根拠となる資料等の具体例としては、活動過程の記録（ポートフォリオ）、賞状、新聞記事等が考えられます。

タイトル

活動内容タイトル 必須

高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や学びなどの取り組みの名称を記入してください。申請できる活動や学びの取り組みは1件です。既卒者は高等学校卒業後の取り組みも申請できます。

残り50文字 / 50文字

特色加点の対象となる活動や学びの取り組みの概要

申請する活動や学びの取り組みの概要について、400字以内で具体的に記入してください。グループ等で取り組んだ場合は、申請者がグループの中でどのような役割を果たしたのか、具体的に記入してください。

必須

※下記イメージ画面の「提出する」ボタンをクリックしなければ提出が完了にならないので注意してください。

※特色加点申請書については、出願書類を大学へ送付後も出願期間中は申請内容の修正ができます。ただし、「提出する」ボタンをクリックすると修正ができなくなります。

活動や学びの取り組みを通して身についたことと入学後の学びとの関連性 編集

申請項目一覧へ戻る 提出する

後期日程

面接に先立って、志望動機、理工学に関わる分野への関心、本学入学後の目標などに関する「志望理由書」への記入を求めます。面接は個人面接又は集団面接で行い、提出書類と志望理由書を参考にして、志望するプログラムやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、及び今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて見るとともに積極性、自己表現力を評価します。また、理工学部で必要となる、高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する試問も含むことがあります。また、集団面接ではグループディ

スカッションは行いません。

【合否判定について】

各プログラムの募集の目安は次ページのとおりとし、プログラム配属上限数は募集の目安を元に決定されます。

各プログラムの募集の目安

学科	プログラム群	プログラム	募集の目安	
			一般選抜	
			前期日程	後期日程
理工学科	数学、情報システム	数理科学プログラム	13	
		知能情報システムプログラム	39	9
	物理、電子電気エネルギー	物理学連携プログラム	10	
		電気エネルギー・電子工学プログラム	46	9
	機械、メカトロニクス	機械工学プログラム	42	10
		知能機械システムプログラム	16	6
	化学、生命・物質科学	生命・物質化学プログラム	37	7
	環境科学、建築	地域環境科学プログラム	13	
		建築学プログラム	28	8
	合計			244

前期日程

前期日程は、大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績、並びに特色加点により合格者を決定します。合否判定及び仮配属決定は以下の手順で実施します。

- (1) 「1次選考」では、大学入学共通テスト得点と個別学力検査得点を合計した成績上位者において、合格基準を上回った受験者を「1次選考適格者」とします。
- (2) 「1次選考適格者」について、大学入学共通テスト得点と個別学力検査得点に特色加点を合計した成績順を「特色加点付加順位」とします。
- (3) 「2次選考」では、「特色加点付加順位」の順に並べて、上位から受験者の志望に応じて順次、各プログラムの上限数範囲内で合格者として仮配属プログラムを決定します。
- (4) (3)の選定で記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格者となりません。

※志望プログラムは第9志望まで全て埋める必要はありませんが、「2次選考」において記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入してください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

※具体的な例を55、56ページ「※前期日程の合否判定における個別学力検査「理科」の選択による志望プログラムの取扱いと合格プログラム判定の例」で示しています。

後期日程

後期日程は、大学入学共通テスト及び個別学力検査（面接）の成績により合格者を決定します。合否判定及び仮配属決定は以下の手順で行います。

- (1) 大学入学共通テスト得点と個別学力検査得点を合計した成績順に並べ、上位から受験者の志望に応じて順次、各プログラムの上限数範囲内で合格者として仮配属プログラムを決

定めます。

(2) (1) の選定で記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格者となりません。

※志望プログラムは第6志望まで全て埋める必要はありませんが、記入した志望プログラム全てでプログラム配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても合否判定は行われませんので、配属を希望するプログラムは全て記入しておいてください（記入されていないプログラムには入学する（配属される）意思がないとみなします）。

【同点者について】

前期日程・後期日程

同点者がある場合は、大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aの高得点者を高順位とします。大学入学共通テストの数学Ⅰ・数学Aも同点の場合は、大学入学共通テストの外国語の高得点者を高順位とします。

※前期日程の合否判定における個別学力検査「理科」の選択による志望プログラムの取扱いと合格プログラム判定の例

説明に当たっては、便宜的に次の表の「略称」を用います。

緑色のプログラムは、第1志望とする場合に個別学力検査「理科」の科目指定がないものを表します。

オレンジ色のプログラムは、第1志望とする場合に個別学力検査「理科」の科目指定がある（『物理』を選択する必要がある）ものを表します。

プログラム名	略称
数理科学プログラム	数理科学
知能情報システムプログラム	知能情報
物理学連携プログラム	物理連携
電気エネルギー・電子工学プログラム	電気電子
機械工学プログラム	機械工学
知能機械システムプログラム	知能機械
生命・物質化学プログラム	物質化学
地域環境科学プログラム	地域環境
建築学プログラム	建築学

ケース1：個別学力検査で『物理』を選択し、第1志望が個別学力検査で『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、かつ第1志望が募集の目安に達していない場合

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望	第7志望	第8志望	第9志望
受験者A	物理	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	知能情報	物質化学	建築学	数理科学	地域環境

↓志望順位の入れ替えなし。「電気エネルギー・電子工学プログラム」に合格

	理科選択	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望	第7志望	第8志望	第9志望
受験者A	物理	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	知能情報	物質化学	建築学	数理科学	地域環境

ケース 2：個別学力検査で『物理』を選択せず、第 1 志望が個別学力検査で『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、かつ志望順位入れ替え後の第 1 志望が募集の目安に達していない場合

	理科選択	第 1 志望	第 2 志望	第 3 志望	第 4 志望	第 5 志望	第 6 志望	第 7 志望	第 8 志望	第 9 志望
受験者 B	化学	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	知能情報	物質化学	建築学	数理科学	地域環境

↓ 第 5 志望が第 1 志望に繰り上がり、他の志望順位は繰り下がる。第 1 志望に繰り上がった「知能情報システムプログラム」に合格

	理科選択	第 1 志望	第 2 志望	第 3 志望	第 4 志望	第 5 志望	第 6 志望	第 7 志望	第 8 志望	第 9 志望
受験者 B	化学	知能情報	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	物質化学	建築学	数理科学	地域環境

ケース 3：個別学力検査で『物理』を選択せず、第 1 志望が個別学力検査で『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、かつ志望順位入れ替え後の第 1 志望が募集の目安に達した場合

	理科選択	第 1 志望	第 2 志望	第 3 志望	第 4 志望	第 5 志望	第 6 志望	第 7 志望	第 8 志望	第 9 志望
受験者 C	化学	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	知能情報	物質化学	建築学	数理科学	地域環境

↓ 第 5 志望が第 1 志望に繰り上がり、他の志望順位は繰り下がる。第 2 志望以降の募集の目安に達していない最上位「電気エネルギー・電子工学プログラム」（電気エネルギー・電子工学プログラムが募集の目安に達していない場合）に合格

	理科選択	第 1 志望	第 2 志望	第 3 志望	第 4 志望	第 5 志望	第 6 志望	第 7 志望	第 8 志望	第 9 志望
受験者 C	化学	知能情報	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	物質化学	建築学	数理科学	地域環境

ケース 4：個別学力検査で『物理』を選択せず、第 1 志望が個別学力検査で『物理』を選択する必要があるプログラムの場合で、第 2 志望以降に個別学力検査の理科の科目指定がないプログラムを選択していない場合

	理科選択	第 1 志望	第 2 志望	第 3 志望	第 4 志望	第 5 志望	第 6 志望	第 7 志望	第 8 志望	第 9 志望
受験者 D	化学	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	—	—	—	—	—

↓ 第 1 志望に入れ替えることが可能なプログラムがないため、全て不合格

	理科選択	第 1 志望	第 2 志望	第 3 志望	第 4 志望	第 5 志望	第 6 志望	第 7 志望	第 8 志望	第 9 志望
受験者 D	化学	電気電子	機械工学	物理連携	知能機械	—	—	—	—	—

福祉健康科学部

【大学入学共通テストについて】

・43、44ページの大学入学共通テストの（ ）で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
理	①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 } ①又は②	<p>理科の科目において、</p> <p>(a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点のものを合否判定に使用</div> </div> <p>(b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は、</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">第1解答科目</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">第2解答科目</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">第1解答科目の得点を合否判定に使用</div> </div>
地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B } から1又は2 現社、倫、政経、倫・政経 } ※2 ①物基、化基、生基、地基から2 ②物、化、生、地学から1 } ※1 ③物基、化基、生基、地基から2と 物、化、生、地学から1 ※3 ④物、化、生、地学から2	<p>「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し、理科の科目において、</p> <p>(a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点の2つ = 合否判定に使用する得点</div> </div> <p>ただし、理科の科目において同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の得点</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点のもの = 合否判定に使用する得点</div> </div> <p>(b) 「基礎を付さない科目」を2科目受験した場合は、</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の第1解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">理科の「基礎を付さない科目」の第2解答科目の得点</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高得点のもの = 合否判定に使用する得点</div> </div>

【第1段階選抜について】

各コースにおいて、入学志願者が著しく多い場合は、大学入学共通テストの成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第1段階選抜を行います。

前期日程

- ・各コースの募集人員の約3倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

後期日程

- ・各コースの募集人員の約10倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

※第1段階選抜については、令和5年（2023年）2月14日（火）に合否を決定し、郵送により本人に通知します。**試験当日**は、インターネット出願システムの申し込み一覧画面から**受験票**を各自でA4サイズ普通紙に**カラー印刷**し、**大学入学共通テスト受験票と併せて持参してください**。

※受験番号確定メールは送信しません。

※第1段階選抜の実施の有無及び実施した場合は選抜結果の概要（志願者数及び第1段階選抜合格者数）を令和5年（2023年）2月14日（火）に本学ホームページでお知らせします。

【個別学力検査について】

前期日程・後期日程

- ・個別学力検査では、小論文及び面接※を全員に課します。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成を含む）を、面接ではコミュニケーション能力、協調性、積極性などを評価します。なお、面接の得点が、面接の配点の20%以下の場合には、総合得点に関わらず不合格とします。

※面接は、理学療法コース及び社会福祉実践コースでは「個人面接」、心理学コースでは「グループディスカッション」を行います。なお、心理学コースでは、受験者数によりグループを編成できない場合は、試験当日に個人面接に変更することがあります。

【同点者について】

- ・それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入学共通テストの高得点者を高順位とします。

11. 個別学力検査の日程及び検査時間

【前期日程】

- ・教科等欄の△は選択を示します。
- ・筆記試験、ペーパーインタビュー及び面接の入室着席は検査開始時刻の30分前までに完了してください。
- ・筆記試験及びペーパーインタビューは当該検査終了まで退室できません。
- ・遅刻による検査室への入室限度時刻は、次のとおりです。
 - ・筆記試験…検査開始後20分
 - ・ペーパーインタビュー…検査開始時刻
 - ・面接…検査開始時刻
- ・面接の終了時刻は、最終面接者（組）の終了予定時刻であり、変更することがあります。各面接終了者（組）から帰ることができます。

検査日		2月25日（土）			2月26日（日）
学部	課程・学科・コース等	教科等	検査時間	備考 (教科・科目の選択方法等)	教科等、集合時刻等
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育コース 特別支援教育コース	△国語 △数学 △英語	12：50～14：10	国語、数学、英語から1教科を試験開始後に選択	
		ペーパーインタビュー	15：00～15：20		
経済学部	経済学 経営システム学 地域システム学 社会イノベーション学	△数学 △英語	12：50～14：10	数学、英語から1教科を出願時に選択	
医学部	医学科	理科	9：30～11：30	理科は物理、化学、生物から2科目を試験開始後に選択	面接 午前の部 8：30集合(予定) 午後の部 12：45集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、別途お知らせします。
		英語	12：50～14：10		
		数学	15：00～16：20		
	看護学科	小論文	9：30～11：30		面接 午前の部 9：00集合(予定) 午後の部 13：25集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、別途お知らせします。
	先進医療科学科	理科	9：30～11：00	理科は物理、化学、生物から1科目を試験開始後に選択	面接 午前の部 9：00集合(予定) 午後の部 13：25集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、別途お知らせします。
		英語	12：50～14：10		
数学		15：00～16：20			
理工学部	理工学 全プログラム	理科 数学	9：30～11：00 12：50～14：30	理科は物理、化学、生物から1科目を出願時に選択	
福祉健康科学部	福祉健康科学科 理学療法コース 社会福祉実践コース	小論文	10：00～11：30		
		面接	12：30～18：00		
	福祉健康科学科 心理学コース	小論文	10：00～11：00		
		面接	12：30～18：00		

【後期日程】

- ・筆記試験、ペーパーインタビュー及び面接の入室着席は検査開始時刻の30分前までに完了してください。
- ・筆記試験及びペーパーインタビューは当該検査終了まで退室できません。
- ・遅刻による検査室への入室限度時刻は、次のとおりです。
 - ・筆記試験…検査開始後20分
 - ・ペーパーインタビュー…検査開始時刻
 - ・面接…検査開始時刻
- ・面接の終了時刻は、最終面接者（組）の終了予定時刻であり、変更することがあります。各面接終了者（組）から帰ることができます。

検査日		3月12日（日）			
学部	課程・学科・コース等		教科等	検査時間	集合時刻等
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育コース 特別支援教育コース	小論文	9：30～10：30	・9：00までに集合し、入室着席（検査場所は当日掲示）してください。
			ペーパーインタビュー	11：20～11：40	
経済学部	経営システム学 地域システム学 社会イノベーション学	小論文	10：00～11：40	・9：30までに入室着席（検査場所は当日掲示）を完了してください。	
医学部	看護学	面接	午前の部 9：00～12：30 午後の部 13：30～16：00	午前の部 8：30集合（予定） 午後の部 13：00集合（予定） ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、別途お知らせします。	
	先進医療科学科	小論文 面接	9：30～11：00 12：30～17：00	・9：00までに集合し、入室着席（検査場所は当日掲示）してください。	
理工学部	理工学科	知能情報システムプログラム 電気エネルギー・電子工学プログラム 機械工学プログラム 知能機械システムプログラム 生命・物質化学プログラム 建築学プログラム	面接	10：00～16：00	・9：30までに集合（検査場所は当日掲示）してください。 ・検査時間中に昼食時間帯を設ける場合がありますので、検査場に昼食を持参してください。
福祉健康科学部	福祉健康科学科	理学療法コース 社会福祉実践コース	小論文 面接	10：00～11：00 12：30～18：00	・9：30までに入室着席（検査場所は当日掲示）を完了してください。

12. 受験に際しての注意事項

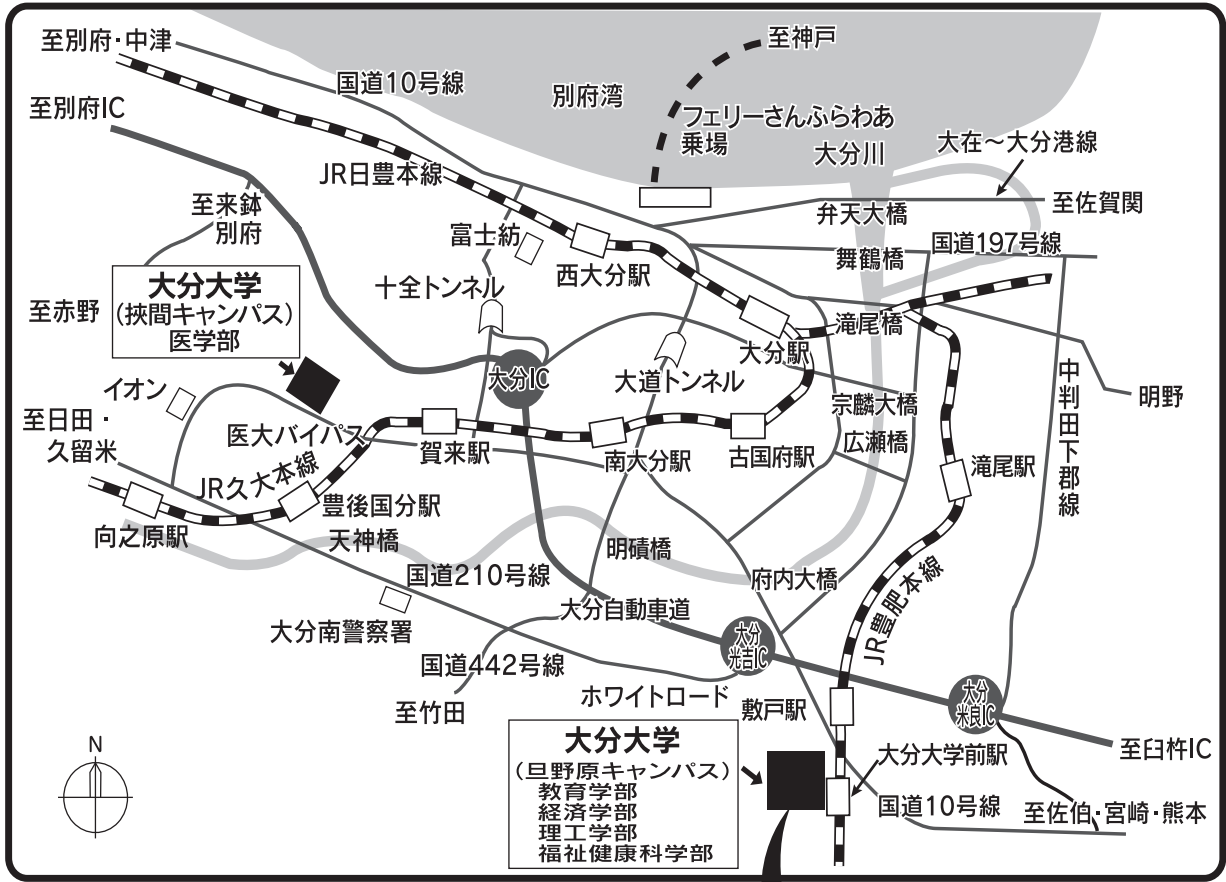
- (1) 入室着席は検査開始時刻の30分前までに完了し、入室後は監督者の指示に従ってください。
- (2) 学力検査中は、本学受験票及び**大学入学共通テスト受験票**を必ず机の上に置いてください。
- (3) 受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計機能のみの時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬以外のものを机の上に置かないでください。
 なお、他の持ち物については、監督者の指示に従ってください。
- (4) 出願時に届け出た教科・科目以外のものを受験した場合、当該教科・科目の成績は無効となります。
- (5) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
- (6) 検査当日は渋滞が予想されますので、時間に余裕をもって検査場に到着するようにしてください。
- (7) 携帯電話等の電子機器類の使用について
 - ・検査室内では、休憩時間中でも携帯電話等の音の出る機器の使用を一切禁止します。
 - ・検査時間中は、時計代わりに携帯電話等の時計機能を使用することはできません（机の上に置くこともできません）。
 - ・検査室に入る前に、携帯電話等のアラームの解除と電源が切れていることを必ず確認してください。アラームの設定ができる時計についても、必ずアラームは解除して使用してください。
 - ・携帯電話等には、電源を切っていても、アラームを設定していると、設定した時刻に電源が入り、アラームが鳴る機種があります。機種にかかわらず、アラームの解除と電源が切れていることを確認し、身につけずに、かばん等にしまってください。
 - ・アラームの解除方法がわからない人や電源の切り方がわからない人、しまっておくかばん等がない人は、試験場本部や試験監督者又は大学の試験担当職員に受験番号と名前を告げ、携帯電話等を預けて指示に従ってください。

13. 検査場

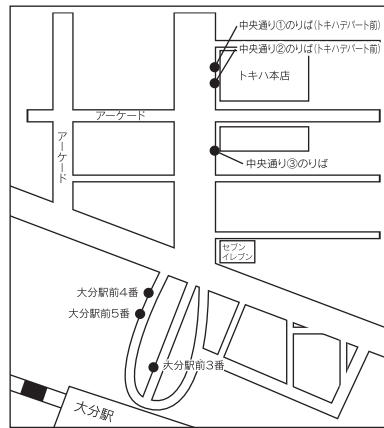
学部名	検査場	所在地
教育学部 経済学部 理工学部 福祉健康科学部	大分大学 ^{だんの はる} 旦野原キャンパス	大分市 ^{おおあざだん の はる} 大学旦野原700番地
医学部	大分大学 ^{はさま} 挾間キャンパス	由布市 ^{ゆふし はさま まちい だいが おか} 挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

- (1) 検査場の下見は、前期日程は2月24日（金）の14：00～16：00、後期日程は3月10日（金）14：00～16：00の間に行ってください。ただし、建物内に入ることはできません。
- (2) 各学部検査場及び検査室は掲示板で確認してください。
- (3) 検査当日は、できる限り公共交通機関等を利用してください。やむを得ず、自動車等で来学する場合は、係員の指示に従ってください。
 なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、送迎を除き、受験者及び本学教職員以外の大学構内への立ち入りを禁止します。送迎のため入構する場合は、受験者の乗降後、速やかに退構してください。また、付添者等の控室は設置しません（大学構内での待機は禁止します）。
- (4) 挾間キャンパスでは、検査時間中に医学部附属病院高度救命救急センターのドクターヘリによる患者緊急搬送が行われる場合があり、その離着陸の際、一時的に大きな音が発生することがあります。この場合は生活騒音として扱い、原則、検査を続行することとしていますので、あらかじめご了承ください。

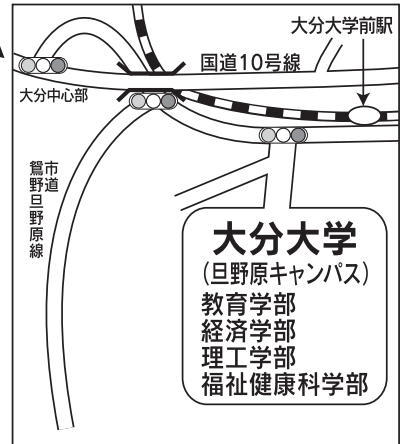
大分大学位置図



大分市内中心部バスのりば案内図



大学入口案内図



だんのはる
巨野原キャンパス

(教育学部、経済学部、理工学部、福祉健康科学部：大分市大字巨野原700番地)

<JR利用>

JR豊肥本線「大分大学前駅」下車(大分駅より約15分)、徒歩約10分

<バス利用>

大分バス [中央通り①のりば(トキハデパート前)]又はJR大分駅府内中央口(北口) [大分駅前3番又は4番のりば] から
 ○「大南団地(高江ニュータウン)」行きを利用(約40分)、「大分大学」又は「大分大学正門」下車
 ○「戸次、臼杵、佐伯」行きを利用(約40分)、「大分大学入口」下車、徒歩約10分
 (詳細は時刻表で確認してください。)

●臨時バスの運行

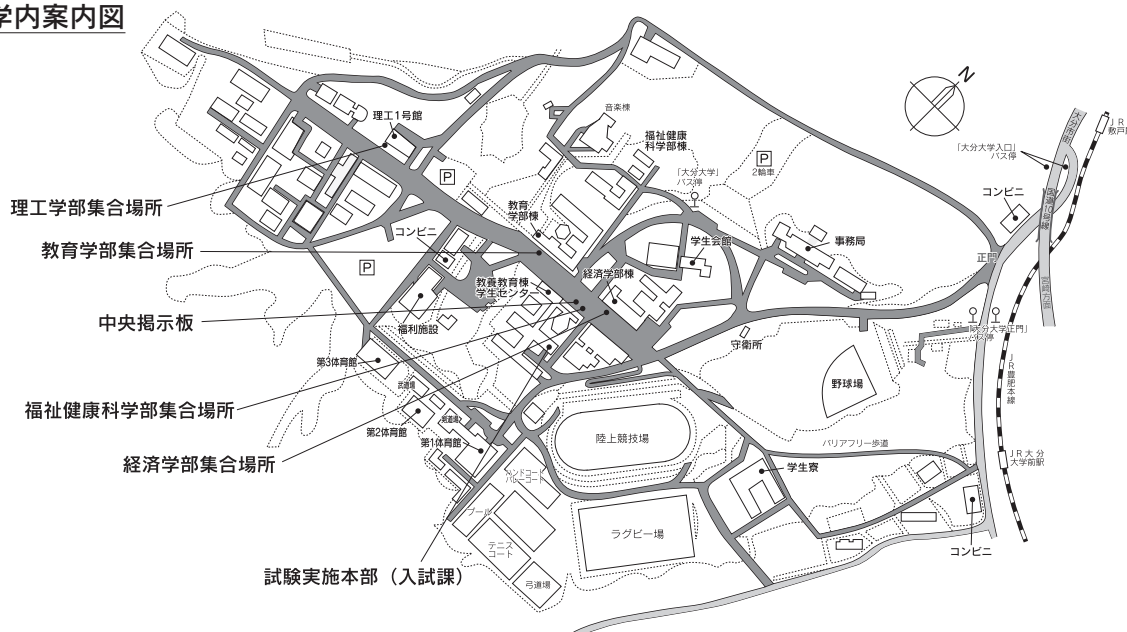
検査当日大分大学まで次のとおり大分バスが臨時バスを運行する予定です。(約40分)

詳しくは大分バス(TEL 097-525-9882)にお問い合わせください。

検査当日=前期日程検査日(2/25(土))の7時30分ごろから→中央通り③のりばから

※3/12(日)は臨時バスの運行はありません。

学内案内図



はさま
挾間キャンパス

(医学部：由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地)

<バス利用>

大分バス [中央通り②のりば(トキハデパート前)]又はJR大分駅府内中央口(北口) [大分駅前5番のりば] から

○「大学病院」行き又は「大学病院」経由を利用(約40分)、「大学病院」下車

(詳細は時刻表で確認してください。)

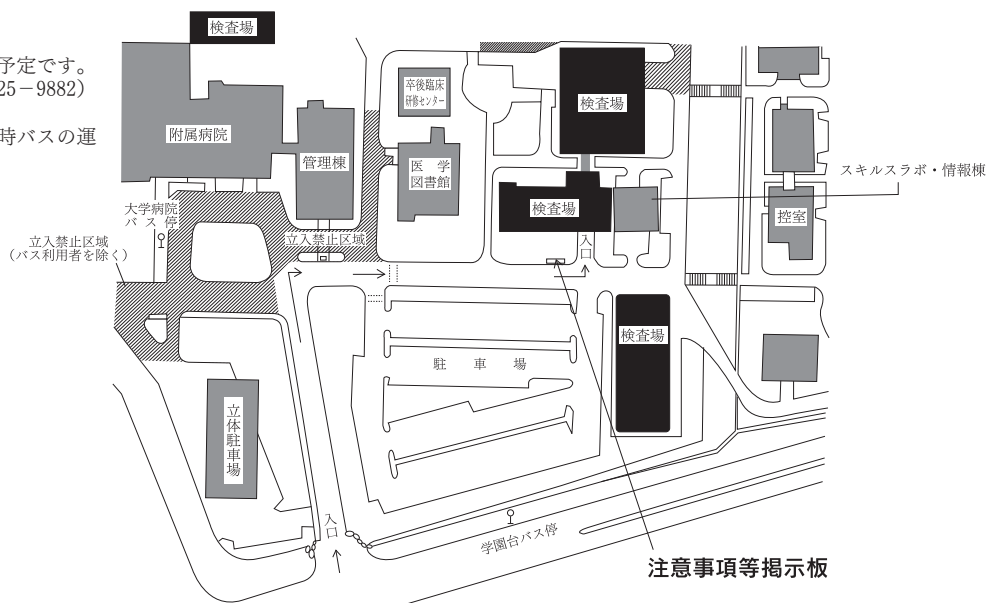
●臨時バスの運行

2/25(土)は臨時バスを運行する予定です。

詳しくは大分バス(TEL097-525-9882)

にお問い合わせください。

※2/26(日)、3/12(日)は臨時バスの運行はありません。



14. 不正行為の取扱い

(1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察への被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

(ア) ①インターネット出願登録の際に故意に虚偽の情報を入力したり、出願確認票に本人以外の写真を貼ること。

②解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること(本人以外の名前・受験番号を記入するなど)。

(イ) カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。

(ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

(エ) 配付された問題冊子を、その検査時間が終了する前に検査室から持ち出すこと。

(オ) 解答用紙を検査室から持ち出すこと。

(カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

(キ) 検査時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします(試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です)。

(ク) 検査時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

(ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

(2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。

(ア) 検査時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

(イ) 検査時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど、検査の進行に影響を与えること。

(ウ) 検査に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。

(エ) 検査場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

(オ) 検査場において監督者等の指示に従わないこと。

(カ) その他、検査の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

15. 合格者発表

合格者発表日時	前期日程	令和5年(2023年)3月8日(水)10:00
	後期日程	令和5年(2023年)3月21日(火)10:00

合格者は上記の日時に大分大学ホームページ(<https://www.oita-u.ac.jp/>)の「入試最新情報」に受験番号を掲載します。

また、合格者本人宛に「合格通知」を送付します。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

16. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

なお、入学手続には**大学入学共通テスト受験票**が必要です。受験後も保管しておいてください。

(1) 入学手続期間

期間	前期日程	令和5年(2023年)3月9日(木)～15日(水)17:00まで(必着)
	後期日程	令和5年(2023年)3月22日(水)～26日(日)17:00まで(必着)

※**入学手続は郵送のみ**とします。なお、期間中に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

※やむを得ない事情により郵送による入学手続ができない場合に限り、持参による入学手続を認めることがあります。その場合は事前に、学生支援部入試課(電話:097-554-7471)に連絡してください。

(2) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円(前期分267,900円 後期分267,900円)

【注1】入学料については、日本学生支援機構の給付奨学金(貸与奨学金ではありません)の予約候補者は入学料が全額又は一部が免除となりますので入学料は納付しないでください。また、入学手続期間中に入学料の納付が困難な場合は一時的に徴収を猶予する制度があります(最大6か月)。授業料についても同様に日本学生支援機構の給付奨学金の採用候補者は授業料が全額又は一部が免除となります。また、大分大学独自の奨学融資制度があります。詳細については学生・留学生支援課奨学支援係(電話:097-554-7386)までお問い合わせください。

【注2】入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

【注3】既納の入学料は原則返還できません。

【注4】日本学生支援機構の給付奨学金(貸与奨学金ではありません)の予約候補者又は入学料の徴収猶予を申請される方は入学料を払い込まずに入学手続期間に合格通知とともに送られてくる書類の指示に従って必要な手続を行ってください。ただし、これらの申請を行って入学手続を完了した後、入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。

(3) 国公立大学に入学手続完了後は、それを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。ただし、「後期日程」の合格者で入学手続を完了した者が、「前期日程」の追試験を受験し合格者となった場合には、これを取り消すことができます。

「後期日程」の合格者で「前期日程」の追試験を受験している場合は、以下の点に留意してください。

- ・「後期日程」の入学手続では、必ず入学料徴収猶予の申請を行ってください。
- ・「前期日程」の追試験を受験している旨を申し出るとともに、後日、入学手続の取消の有無について、できるだけ早急に(遅くとも3月29日(水)17:00まで)学生支援部入試課(電話:097-554-7471)までご連絡ください。

17. 追加合格

入学手続完了者が定員に満たない場合、いずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者を対象に、追加合格により欠員補充を行うことがあります。

追加合格の有無については、令和5年（2023年）3月28日（火）9：00頃に大分大学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）へ掲載しますので、電話等による照会には一切応じません。

追加合格候補者には、3月28日（火）9：00以降3月31日（金）までの間に、出願時に登録された連絡先へ候補者の上位から順に電話で直接連絡し、本人確認を行った上で入学の意思確認を行います。その際、確実に連絡がとれるように措置を講じておいてください。

なお、候補者が電話に出ず連絡がつかない場合や、候補者以外の方しか電話に出ない場合は時間を空けて再度電話しますが、本学が最初に電話連絡してから2時間以内に候補者本人に連絡がつかない場合は候補者から除外し、次位の候補者へ連絡を行います。

また、候補者本人に連絡がついた場合でも、本学が最初に電話連絡してから2時間以内に入学の意思が確認できない場合は、入学の意思がないものとして取り扱いますので、仮に候補者となった場合に入学を希望するか否かについて、あらかじめ決めておいてください。

追加合格による欠員補充の作業が終了した場合は、その旨を大分大学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）へ掲載します。

連絡期間	令和5年（2023年）3月28日（火）～令和5年（2023年）3月31日（金）
------	---

18. 欠員補充第2次募集

追加合格によっても、入学手続完了者がなお各学部の入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

この場合、詳細については大分大学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）にて公表します。

19. 情報提供

(1) 大分大学ホームページへの掲載について

下記の期間、大分大学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）に掲載します。

区 分	掲 載 期 間
出 願 状 況	令和5年（2023年）1月23日（月）17：00～3月7日（火）
合格者受験番号 （前期日程）	令和5年（2023年）3月8日（水）10：00～3月10日（金）
合格者受験番号 （後期日程）	令和5年（2023年）3月21日（火）10：00～3月24日（金）
追加合格実施状況	令和5年（2023年）3月28日（火）9：00頃～3月31日（金）

(2) 本学の情報は大分大学ホームページで見ることができます。

(3) 入学試験個人成績の開示

本学においては、大分大学入学者選抜試験個人成績を受験者本人に限って開示します。

開示を希望する場合は、次の要領で申し込んでください。

申込期間：令和5年（2023年）5月1日（月）から5月31日（水）17：00まで（必着）

※土日及び祝日は除きます。

申 込 者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

申込方法：次の書類等を持参又は郵送で学生支援部入試課に提出してください。

- ①入学試験個人成績開示申請書（大分大学ホームページから印刷して入手してください。）
- ②個別学力検査の受験票のコピー、写真付きの身分証明書のコピー又は大学入学共通テスト受験票のコピー
- ③返信用封筒（長形3号の封筒に受験者本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、404円分の切手（簡易書留郵便料金分）を貼ってください。）

開示方法：受験者本人宛に簡易書留郵便で後日送付します。

開示内容：令和5年（2023年）4月下旬に、大分大学ホームページでお知らせします。

20. 入試過去問題の使用

大分大学は、「入試過去問題活用宣言」に参加を表明しています。ただし、「数学」及び「小論文」は参加しません。

- (1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を使用して出題することがあります。

なお、過去問題は必ず使用するとは限りません。

- (2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、入試過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、受験者にわかる形で使用過去問題を公表します。

- (3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のホームページにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

21. その他

本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、大分大学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）に対応の詳細を速やかに掲載します。

なお、不測の事態が発生した場合の問合せ先は、学生支援部入試課（電話：097-554-7471）です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

22. 受験の際の宿泊

宿泊については大分大学生生活協同組合でも案内しています。希望する者は下記URL（大分大学生生活協同組合ホームページ）を確認してください。

<https://kyushu.seikyou.ne.jp/oita-coop/>

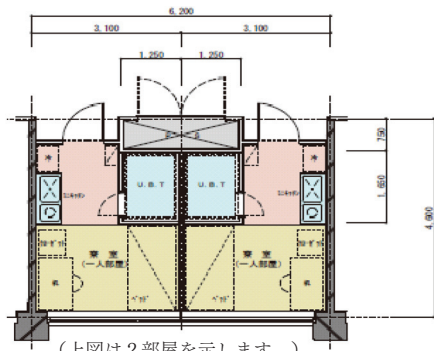
23. 大分大学学生寮のご案内（予告）

学生の居住施設として、旦野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

医学部のある挾間キャンパスまでは、約10 kmの距離ですが、公共の交通機関を乗り継いで90分程度かかりますので、挾間キャンパスへの通学には不便です。

入寮者の選考は、経済的事由及び地理的事由（通学に要する時間が90分以上）を考慮して行います。

《学生寮の概要》



（上図は2部屋を示します。）

下記QRコードより部屋の様子をご覧いただけます



対象学生	収容人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
一般学生・外国人留学生	290人	290室	1人	鉄筋5階建

（バリア・フリータイプの居室、男女各1室を含む。（主に、肢体不自由のある学生用））

男子・女子ゾーンによるエリア区分（女子ゾーンは男子入室禁止、男子ゾーンは保護者を除き女子入室禁止）

■居室の形態 単身用個室タイプ（約12㎡）

ベッド（マットなし）、机・椅子、クローゼット、エアコン、UBT（ユニットバス・トイレ）、ミニキッチン（IH）、インターネット配線・TV配線付

《必要経費》

（金額は消費税率等により変更になる可能性があります。）

居室使用料	維持管理費・水道料	インターネット使用料 （全員加入）	維持管理一時金 （退去時原形復旧費）
20,000円/月	4,000円/月	2,037円/月	26,400円/入居時

・電気料は自己負担となります。（ガスは使用しません。）

《募集人員等》

■募集人員：140人程度（大学院入学生を含む。）（バリア・フリータイプの居室、女1室を含む。）

■入寮許可：2年間（令和5年（2023年）4月1日～令和7年（2025年）3月31日）

《選考区分等》

区分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	一般選抜（前期日程）・学校推薦型選抜・総合型選抜・帰国生徒選抜・社会人選抜・編入学試験の合格者	一般選抜（後期日程）・大学院生の合格者
申込期間	令和5年（2023年）1月23日（月）～2月8日（水） （入試出願期間とは異なりますので注意してください。）	
結果通知	令和5年（2023年）3月10日（金）	令和5年（2023年）3月23日（木）

■試験種別によっては、入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

■大学院入学生については、選考Ⅱにより選考しますが、入試日程により対応できないことがあります。

《入寮者募集要項の入手方法》（募集要項公表：令和4年（2022年）12月上旬）

冊子版をご希望の方

請求先 大分大学学生・留学生支援課

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地（TEL097-554-7454）

請求方法 学生寮管理事務室でのお受取り又は郵便での請求ができます。

郵便の場合は、返信用封筒（角形2号、郵便番号、住所及び氏名、連絡先を明記し、140円切手を貼付したもの）を同封の上、請求する封筒の表に「入寮者募集要項請求」と朱書きしてお送りください。

デジタル版をご希望の方

大分大学公開ホームページからダウンロードしてください。

（ホームページ→学生生活→学生寮・アパート）

右のQRコードからもアクセスが可能です。

大分大学学生・留学生支援課（学生寮担当）097-554-7454 gakuryo-ml@oita-u.ac.jp



24. 令和4年度(2022年度) 入学者選抜試験実施状況

選抜区分	一般選抜(前期日程)				一般選抜(後期日程)				学校推薦型選抜				総合型選抜				帰国・社会人・外国人選抜				合計				
	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	合格	入学
教育学部	65	168	134	60	20	186	51	28	26	30	71	30	30	10	14	14	9				125	439	270	135	125
初等中等教育コース ※2																									
特別支援教育コース ※2	3	30	24	3	2	38	16	3	2	5	10	5	5								10	78	50	11	10
教育学部 計	68	198	158	63	22	224	67	31	28	35	81	35	35	10	14	14	9				135	517	320	146	135
経済学部	120	265	249	131	80	540	167	99	72	65	92	62	62	25	53	53	26	26	26	26	若干	2	2	0	0
経済学科																									
経営システム学科																									
地域システム学科																									
社会イノベーション学科																									
経済学部 計	120	265	249	131	80	540	167	99	72	65	92	62	62	25	53	53	26	26	26	若干	2	2	0	0	0
医学部	65	253	154	66	10	109	39	12	9	15	57	15	15	35	125	79	35	34	34	若干	1	1	0	0	0
医学科 ※1 ※2																									
看護学科	35	99	92	40	10	109	39	12	9	15	57	15	15	35	125	79	35	34	34	若干	1	1	0	0	0
医学部 計	100	352	246	108	10	109	39	12	9	15	57	15	15	35	125	79	35	34	34	若干	1	1	0	0	0
理工学部	47	148	145	44	12	126	57	17	15	11	21	11	11	5	10	10	8	8	8	若干	0	0	0	0	0
機械コース																									
電気電子コース	52	190	182	53	11	109	54	14	11	10	15	11	11	2	2	2	1	1	1	若干	1	0	0	0	0
福祉メカトロニクスコース	18	38	37	20	7	55	16	10	7	8	26	6	6	2	6	6	2	2	2	若干	0	0	0	0	0
理工学部 計	35	175	166	37	10	130	45	13	12	5	7	6	4	5	7	6	4	4	4	若干	0	0	0	0	0
建築学コース	15	47	46	17	16																				
数理学コース	40	151	145	41	36	120	52	16	16	9	31	9	9	6	16	16	6	6	6	若干	0	0	0	0	0
知能情報システムコース	12	34	33	13	3	38	13	5	1																
自然科学コース	38	124	115	43	10	124	40	18	17	7	15	7	7	7	15	15	7	7	7	若干	1	0	0	0	0
応用化学コース	257	907	869	272	63	702	277	93	79	45	108	108	44	20	41	40	21	21	21	若干	2	0	0	0	0
理工学部 計	22	56	51	24	3	85	9	3	2	8	16	8	8	5	23	23	5	5	5	若干	2	0	0	0	0
理学療法コース ※1																									
社会福祉実践コース	23	48	44	26	4	39	15	4	4	8	16	8	8	8	16	16	8	8	8	若干	1	0	0	0	0
心理学コース	27	64	56	30	28																				
福祉健康科学部	72	168	151	80	7	124	24	7	6	8	16	8	8	13	47	47	13	13	13	若干	5	3	0	0	0
福祉健康科学部 計	617	1,890	1,673	681	182	1,699	574	242	194	168	354	164	164	103	280	233	104	103	103	若干	5	3	0	0	0
合計	617	1,890	1,673	681	182	1,699	574	242	194	168	354	164	164	103	280	233	104	103	103	若干	5	3	0	0	0

※1 第1段階選抜合格者は、医学部医学科の一般選抜(前期日程)は195名、福祉健康科学部理学療法コースの一般選抜(後期日程)は55名です。

※2 教育学部初等中等教育コース、特別支援教育コースの一般選抜(後期日程)及び医学部医学科の一般選抜(前期日程)の合格者及び入学者数には、追加合格者(教育学部4名、医学部2名)を含みます。

※3 教育学部の一般選抜(前期日程)及び理工学部の一般選抜(前期日程)・(後期日程)には、追試験受験者を含みます。

26. 令和4年度（2022年度）一般選抜合格者の成績

【前期日程】

学 部	学科・コース	募集 人員	合格 者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育学部	初等中等教育コース	65	68	1200	869.55	721.00	757.03
	特別支援教育コース	3	3	1200			
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科 社会イノベーション学科	120	150	1000	704.20	547.70	592.85
医 学 部	医学科（一般枠）	55	56	1000	822.50	671.00	717.76
	医学科（地元出身者枠）	10	10	1000			
	看護学科	35	40	650	507.83	377.33	408.92
理工学部	機械コース	47	48	1025	628.00	501.75	543.90
	電気電子コース	52	53	1025	623.25	512.00	540.24
	福祉メカトロニクスコース	18	20	1025	598.75	500.75	529.71
	建築学コース	35	37	1025	687.75	518.50	570.63
	数理科学コース	15	17	1025	624.25	530.50	566.56
	知能情報システムコース	40	41	1025	826.75	535.25	580.84
	自然科学コース	12	13	1025	629.50	526.00	568.48
	応用化学コース	38	43	1025	646.25	525.00	573.90
福祉健康 科 学 部	理学療法コース	22	24	1300	890.40	792.20	824.47
	社会福祉実践コース	23	26	1300	906.60	762.80	821.60
	心理学コース	27	30	1300	935.80	823.80	863.98

【後期日程】

学 部	学科・コース	募集 人員	合格 者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育学部	初等中等教育コース	20	25	1200	861.07	683.27	746.65
	特別支援教育コース	2	2	1200			
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科 社会イノベーション学科	80	99	700	571.90	430.80	476.63
医 学 部	医学科	—	—	—			
	看護学科	10	12	550	363.00	318.17	332.92
理工学部	機械コース	12	16	1100	833.250	627.125	677.420
	電気電子コース	11	14	1100	808.375	628.375	685.800
	福祉メカトロニクスコース	7	9	1100			
	建築学コース	10	13	1100	765.000	712.625	728.460
	数理科学コース	—	—	—			
	知能情報システムコース	10	16	1100	796.500	712.250	746.020
	自然科学コース	3	5	1100			
	応用化学コース	10	17	1100	774.750	629.125	693.040
福祉健康 科 学 部	理学療法コース	3	3	1300			
	社会福祉実践コース	4	4	1300			
	心理学コース	—	—	—			

※追加合格者を除く。

※合格者が10名以内の場合、最高点、最低点及び平均点は非公表。

※経済学部前期日程及び理工学部前期日程の最低点及び平均点には、特色加点（配点20点）を含む。

入学試験に関する問合せ先

〒870-1192 おおいたし おおあざだんの はる 大分市大字巨野原700番地
大分大学学生支援部入試課
TEL 097-554-7471
FAX 097-554-7472
URL <https://www.oita-u.ac.jp/>